處女の友

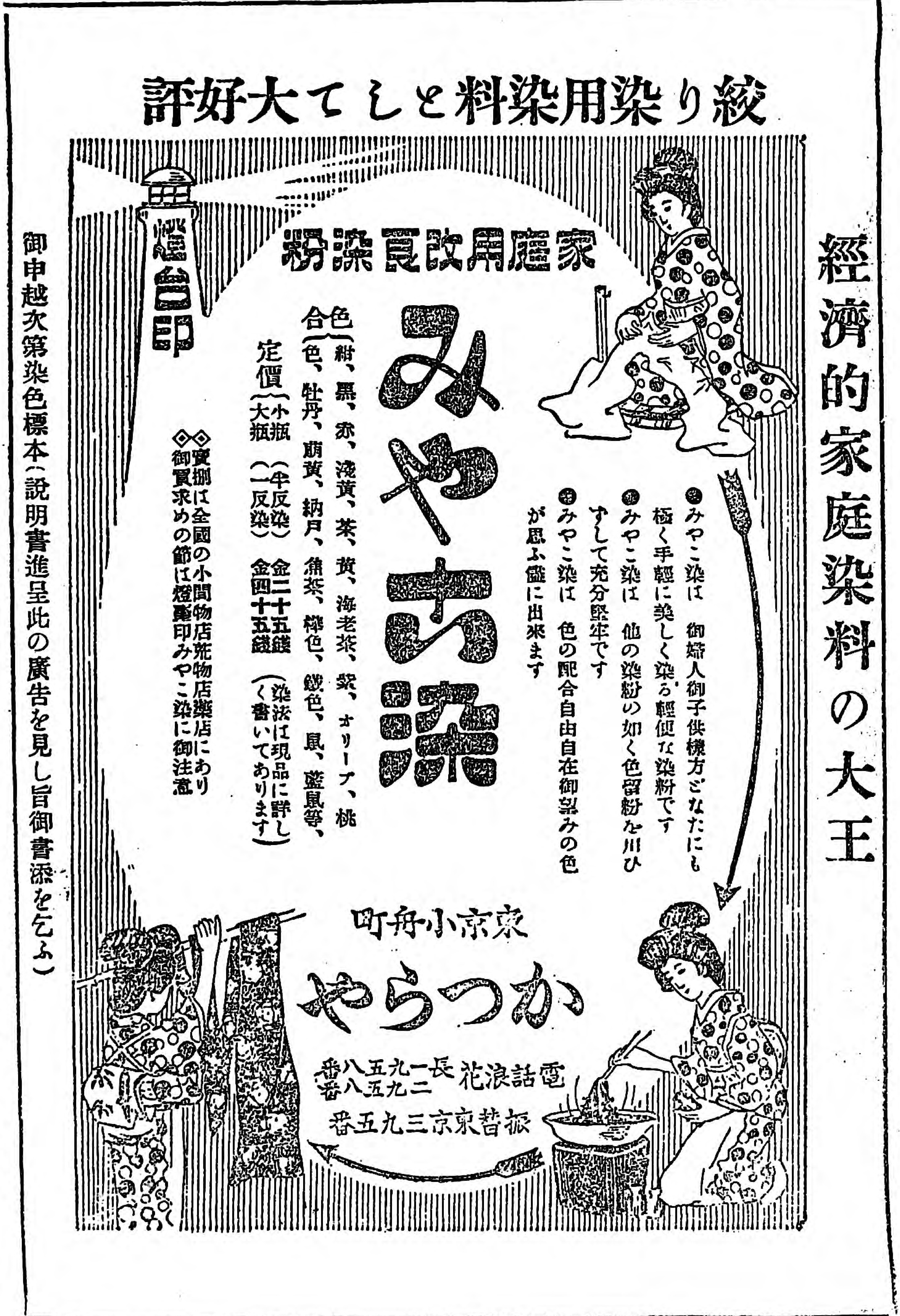
四月

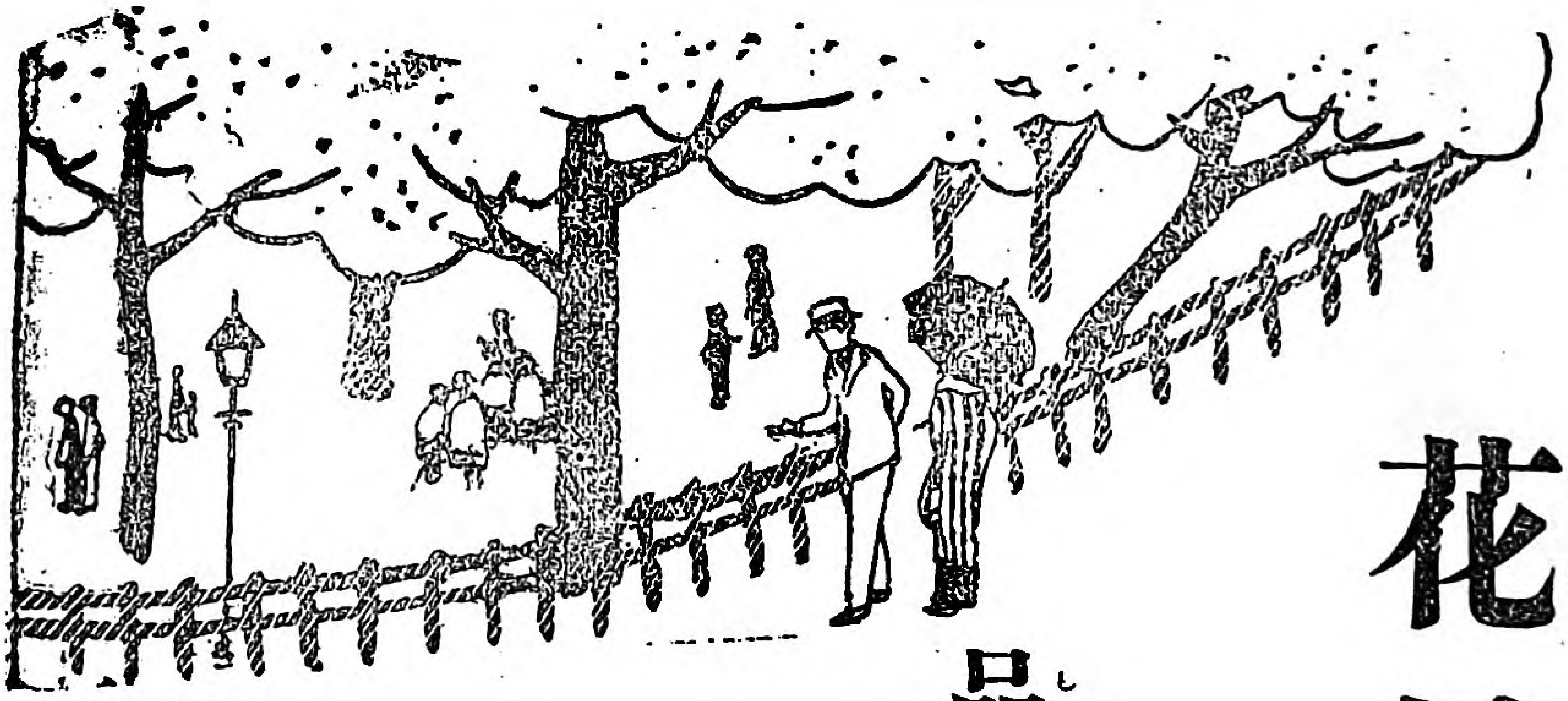
3巻4号

第三巻 處女會中央部發行 第四號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○





花見時に

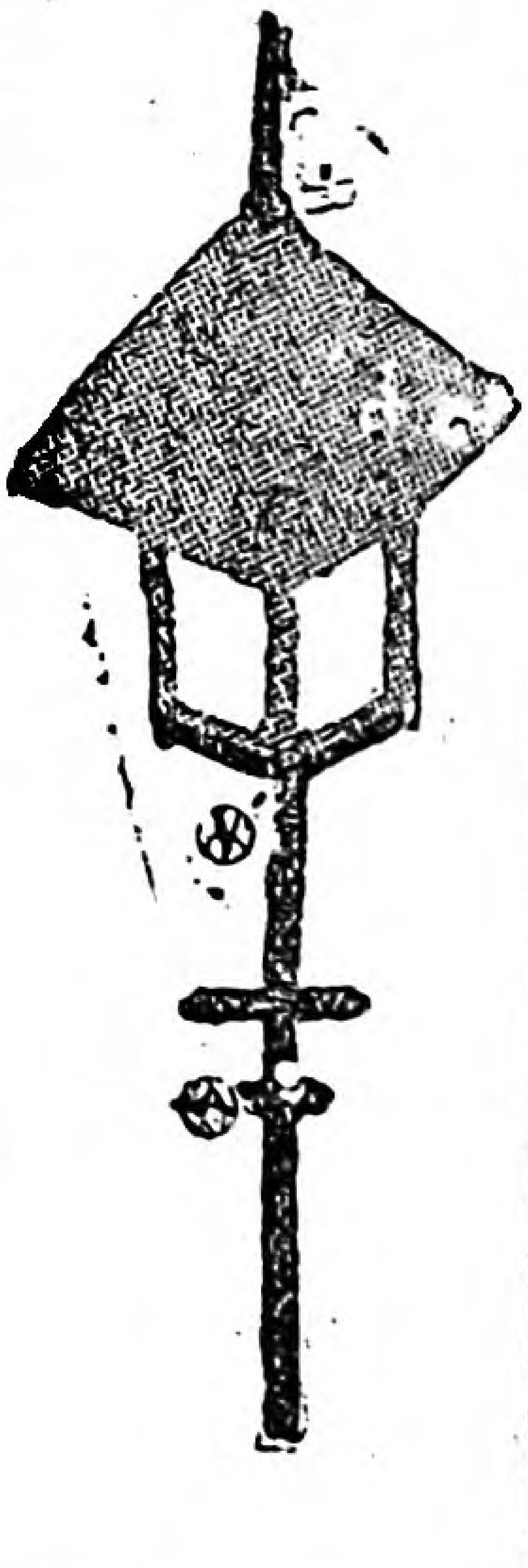
一番よい化粧料は

品質も香もよくて

ツケればツケる程色白く艶を増す

新發見

ホーカー液



定價			送料	
大瓶一圓	中瓶五十錢	小瓶二十五錢	内地六錢	滿鮮四十錢

□全國到處の化粧品店・小間物店

洋品店薬店等にあり若し品切れの時は直接本舗へ御注文を願上げます。

東京神田和泉橋

ホーカー化粧品本舗

堀越嘉太郎商店

振替東京一一五六

神田一四三、一四四、一四五

處女の友　四月號　目次

第三巻第四號

○表紙　夜なべ……田代紫光筆

○題字……跡見花蹊筆

○口繪　福島縣猪苗代處女會・愛媛縣青島處女會・群馬縣鳥之郷處女會……

記事

▽卷頭　處女會中央部發會二週年……（一）

▽なやめる處女へ……理事　天野藤男……（二）

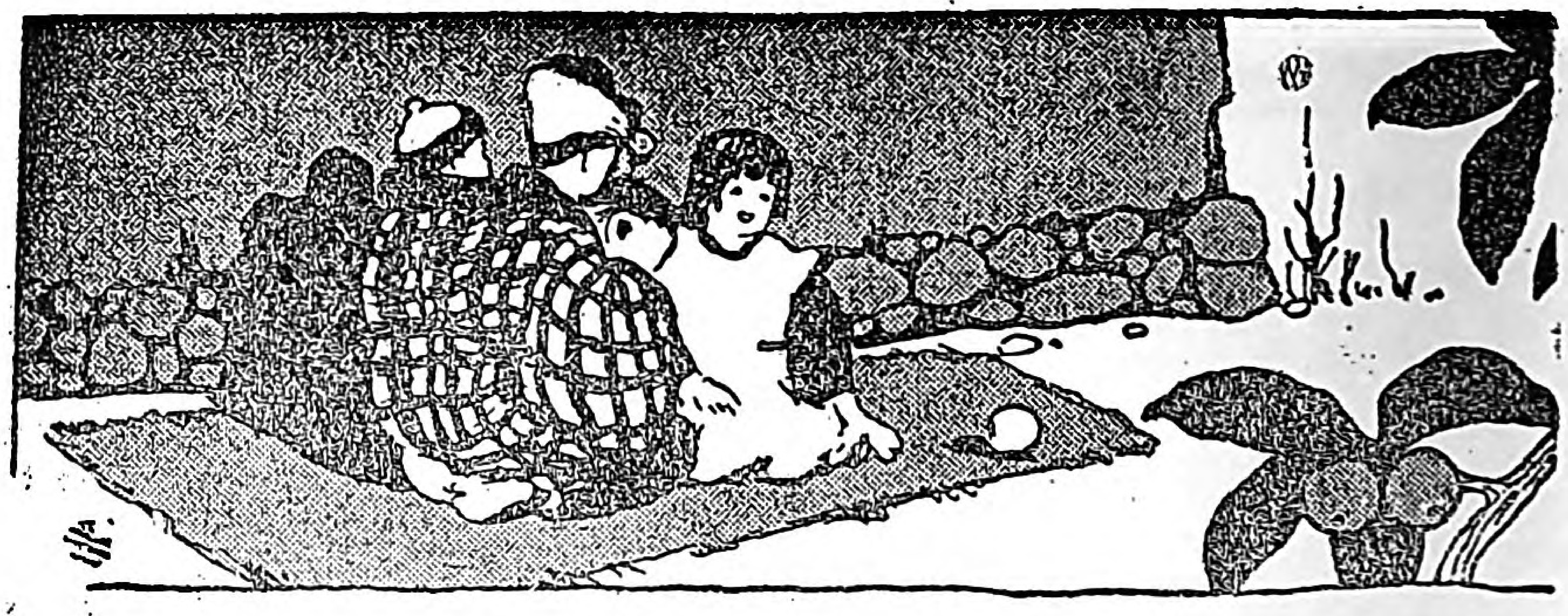
▽お嫁に行く田舍の婦人へ……男爵　高木兼寛……（八）

▽野の幸（地方處女會の歌）……葛原𦾔作歌　小松玉巖作曲……（一〇）

▽修業のための出京する處女へ……理事　山脇房子……（一三）

▽世が進むと家庭が淋しくなる……内務省囑託　留岡幸助……（一四）

▽上原大將家の忠婢……（一八）



▽女工さんから廿五圓寄附……(二〇)
▽人の品位……小林長吉…(二一)
▽鳥之郷婦人會を訪ねて……(二三)
▽暮し易い農村生活……農家の主婦…(二六)
▽土懸ひし……柏村玉溪…(二六)
▽紋平袴について(口繪說明)……菅野三郎次…(二八)
▽描かれた娘(新講談)……天野雉彥…(三〇)
▽修身歌かるた(上)……宇津井處女會選…(三四)
▽召集令(戰時悲劇)……(三八)
▽青年と處女……細井いつ外三名…(三八)
▽懸賞文藝募集……(四六)
▽都にあこがれて(其七)……白雲生…(四七)
▽誌友通信……(五一)
▽誌友名簿……(五五)
▽誌友くらぶ……(五六)
▽編輯だより……(五七)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

賜天覽 台覽

好評六版

指導經營 研究美績 青年團及處女會

内務省囑託 天野藤男著

内容充實、趣味饒多 統計確實、識見卓拔

定價貳圓五拾錢 郵送料拾八錢

特色!!!!

青年團體及處女會の組織内容美績等正確なる材料を豐富なる觀察に基き趣味深き筆を以て從橫に描出せるもので、青年團體處女會には一日も缺くべからざる座右の寶典である

十一版

親愛なる農村青年へ

内務省囑託天野藤男著[illegible]版を重ぬる十一版以て其の内容の如何を知るべし

四六版二百頁 定價六拾錢 郵送料六錢

東京市本郷區元町 丙辰出版社 振替東京三三三〇〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

活動せる地方婦人

福島縣猪苗代町處女會幹部向つて後列左端菅野會長

愛媛縣喜多郡長濱町青島婦女會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方婦人會（群馬縣新田郡鳥之郷村）を訪ねて

去年東京見學に來られた鳥之郷婦人會を天野理事が訪れて會員有志と名所金山の頂上の新田神社々前で記念の爲寫した寫眞で中央中山帽が天野理事其左が齋藤會長です。

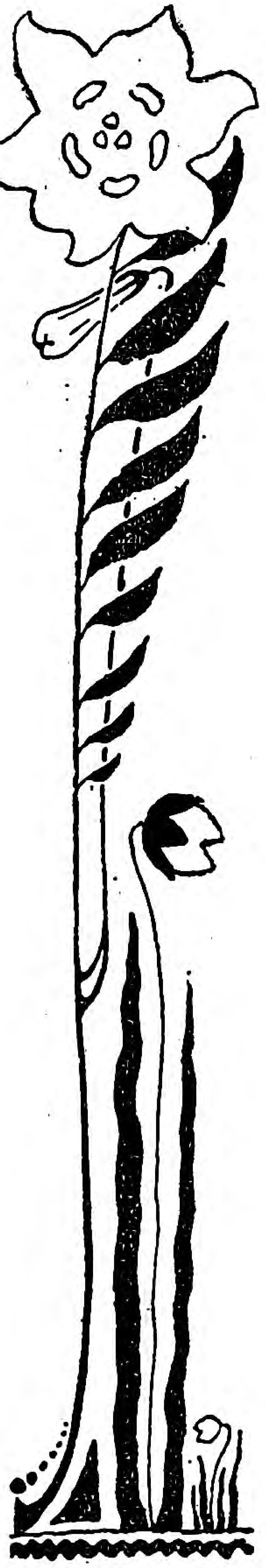
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女之友　四月號

處女會中央部發會二週年

來る四月十三日は處女會成立の二週年となります。二年間の中央部は格別の仕事も爲しませぬでしたが、然し地方婦人の自覺によつて處女會婦人會の增設せられましたことは目ざましいもので、近ごろ又青年會との連絡の問題が盛んになり、敬老會や講話會運動會などは一所に開いてゐる地方が多うございます。青年會と處女會とは地方を守る二大重鎭お邦を支へる二柱。青年團を勵まして內助の功を完うするのは處女會の力です、どうか皆樣益々團結の力を强うし、團體の爲に市町村の爲に務めて下さい。皆樣の責任は重く、使命はたふとい、世間も皆樣の力を認めて來ました。あゝ日本の半分を脊負て立つ婦人の力、その婦人が團結すれば鬼に金棒です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



なやめる處女へ

―親がひとりできめた結婚の爲に―

天野藤男

九州の田舍のみね子さんからこういふ御相談の手紙が參りました。

私は九州の田舍の乙女でございます、學校生活にあこがれながら、鍬鎌を持つて毎日涙を呑んで働いて居りました。さうして女學校にゆくことも出來ません私は不幸な生れつきと思つては、一人泣くのでありました。こんな悲しい日を送つて居りましたが、昨年の十月から『處女の友』を讀む樣になりましてから樂しい月日が送れる樣になり、毎日の仕事にも趣味をもつて樂しく働いて居りましたが、此の頃又急に

◇悲しい身の上に◇

なつてしまひました。それは、私の身に結婚問題が出

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

來たのであります。そして兩親が獨斷で話を定めてしまひました。それでいよ〳〵結婚せねばならない身となつたのが悲しうてなりません。兩親は私のために幸福である樣にと心をつくしてくれたのでありますけれども、私は此の結婚には心が進みません。足らぬ勝の私も結婚に對しては、矢張り希望をもつて居ります

私は家と家との結婚でなく、人と人との結婚をしたいと思ひます。子供達をみる度に、どうか少しでも世の中のためになる人間をと思ふ時、矢張子供は生れつきだ、生れが大事だと感じます。かうした立場から私は今までの習慣やいろ〳〵なものに囚はれずに、優良な子孫を得るために、

◇理想的の結婚を◇

してみたいと存じます。私はこんなに考へて居りながらも、兩親獨斷の結婚問題に盲從しなければならないでせうか、私はどうかして此の古き習慣に囚はれた結婚問題からのがれたいと思ひますけれども、年老ひた兩親に心配させたくありません。さりとて兩親を安心させやうとすれば、私は大事の一生を虛僞な生活に終らねばなりません。自分が意義ある生活を望めば、今の場合兩親に心配をさせねばなりません。あゝ私はどうしたらよいでせうか。私は誰にこんな事を相談する樣な人もありません。此の時に急に思ひついたのは、「處女の友」の事です、何でも相談相手になつて下さるとの事ですから心から喜んで此の手紙を書きました。今の私の場合何れの道を進んでよいでせうか、どうぞ正しき道に導き下さいませ。

□みね子さんへ

女學校へゆけなかつたことは、成るほど不仕合せかも知れませんが、その日〳〵の生活が活きた學問です深く悲しむには當りません。女學校に學んでゐるひまにあなたは浮世の活きた生活學をしなすつたと思ひなさい。學校で習つたことが役立つか、經驗の力が勝つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

か、これからです。文章も御達者でよく理義もわかります。よく相談をかけて下すつた。

みね子さん、一口に言へば、あなたは、御兩親が勝手に縁談をきめてしまつた、其の仰せに從へば、理想の結婚が出來ない、さりとて兩親の意を斥けるのは孝道でないといふことから煩悶を起されたように考へられます。若い娘にとつて結婚は生涯の大事「わるい女房は六十年の不作」とかいひますが、女からいへば、

◇惡い夫を持てば其こそ◇

生涯浮ぶ瀬はありません。輕卒に結婚したために、後悔してゐる娘や青年がどれ丈あるか、はかり知れません。よく相談して下すつた。

みね子さん、あなたが仰言る通りです。これからの結婚は家と家との結び合せではありません。財産と財產とでもない、全く本人同志の理解から出た戀愛に出發しなければなりません。親の嫁でなく、親の婿でなく、夫の妻であり、妻の夫であるべきです。こう考へると、今まで顔も知らなかつた若い男女が、一回の見合ひ位で縁談をとりきめ、夫婦となるといふようなことは、理想の結婚でないことになります。

然しいつも申すことですが、日本は、若い男女の交際といふことが困難な國柄であります。男女が互に理解し合ふような習慣と敎育とを授けられずに永い間通つて來ました。言ひかへれば、男の目には、ほんとうの女といふものが映らず、

◇女の目にもほんとうの男◇

が映らなかつたのでした。仍で女といふとすぐ妙に考へを旋らし、姉と手をとつてあるいても、往來の人が目を皿にします。寄席へゆきますと、きつと女の話が出來ます女道樂なんぞといふ熟字は、何といふ女性を輕蔑した文字でせう。格言にさへ『酒と女は敵と知るべし』なんぞとあります。皆樣心外ではありませぬか。

新渡戸先生は、女といふと、すぐ母、優しい母、な

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

つかしい母の俤が頭に浮んで來ると申されます。其が當然なことであります。私は結婚を論ずるに先つて日本の男が今少しくほんとうの女を知り、知つて敬し敬して愛するようにせねばならぬと考へます。

話が横みちに逸れましたが女を見る男及世間の目が正しくなかつものですから、是も一つの原因となつて今申しましたやうに男女の清い交際は行はれずに今日となりました、故に、未知の男女が見合ひに依つて始めて既知となり、其から急轉直下して夫婦となるといふことは致し方がありませんでした。

みね子さん、御同樣に過渡時代に生れたが不幸といふもの、今少し先きに生れるか、後に生れたらば、却つて煩悶もなかつたでせう。あなたが兩親の獨斷の縁談に煩悶されたのも無理はありません。あなたの苦しい胸中はよつくわかります。

然しみね子さん、あなたにお伺ひ致したいことは、御兩親が獨斷できめられたといふ

◇そのお婿さんの人と爲り◇

であります。どんな人でありますか。いかに獨斷とは言へ、あなたは可愛ゆい娘さん、御兩親が惡るい男を撰ばう筈がありません。あなたは遠慮なく御兩親に夫となるべき人の性質、血統、品行、力量は固より、酒をのむかのまぬか、身體はどうか、どんな趣味をもつてゐるか、くわしくお質しなさい。寫眞を借りてごらんになるもよい。何の遠慮が入りませう。遠慮どころか、もう少し勇氣を出して『お母さん媒介口なんかあてになりやしない、一度私の家へつれて來て來さい』位な要求をなさるがよい。そして聘んで、お茶を出したり、お給仕したりして、その男の頭の先から足いや座り方までいや心の中までトックリとみぬきなさい。あなたのお目が鋭いならば、大體のことはわかります

◇一生伴れ添ふお婿さん◇

です。實物をみずに、きめるなんか、輕はづみといふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ものです。さうして、若しもあなたの理想に合はぬならば、キッパリとお斷りなさるがよろしい。一度でわからなかつたならば、お兩親にお願ひして『もう二三度聘んで下さい』と仰言るもよろしのです。交際が出來れば、之に越したことはありません。一方でその青年の品行や人格を調べ、その上に十分な見合ひをしてそれで大丈夫となれば、まあ御とりきめになるも宜しいのです。

みね子さん、御兩親がきめられた方はどういふ方ですか、其を調べるが第一番の問題です、御兩親が打ち明けて下さらぬならば、其こそ

◇そんな福引のような縁談◇

はギッパリとお斷りなさい。斷じて御承諾なさるな。然し御兩親の目がねに叶つた花婿さんで、事實品行もよく、趣味も上品で、且血統もよく、大分よささうでしたならば、まあ世間なみに、交際といふ段取りは經すとも、御承諾なさるが宜しいと思ひます。見合でも取りようによると一種の交際です。戀愛に基く結婚が理想ですが『結婚から戀愛へ』とも考へられます。相手の人如何に依ることゝ思ひます。

みね子さん、御兩親のおきめなすつた方の素性をよくお調べなさい。兩親が打ち明けられないならばその人が青年會員であるならば、その人の村の處女會員にたのんで、ふだんの人と爲りを調べてお貰ひなさい。その結果があなたの理想に副はないならば、いかに御兩親がすゝめてもキッパリとお斷りなさい。要するに夫となるべき人の人物如何の問題であります。

みね子さん、それとも、あなたは若し、前から親しくしてゐられる

◇意中の方があるならば◇

其を打ち明けて下さい。其を隱くして、親のいふがまゝに結婚して、悲しい結果に終るといふ例は世の中に少くありません。是こそ一種の罪惡であります。あなた一人が苦しむのみでなく、男をも苦しめます。あな

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

たは若しさういふ方がありますならば、早く打ち明けなさい。其は決して疚しいことでも、恥づかしいことでもありません。聞かぬは一生の恥といひますが、此處では、言はぬは一生の損否悲しみのもととなります打ち明けて若し御兩親のお氣を損じ其の方との交際を絶つてしまへと強請せられましたならば、その時はまた御相談に乗りませう。

然しみね子さん、あなたに申し上げたいことがあります、なるほど親が獨斷できめたのは若い人を理解しないことです。けれども、考へようによると、是も親の情けといふものです。あなたを思へばこそ、御兩親が心配して下さる。都會では、縋つても結婚の相談相手になつてくれない兩親があります。無慈悲でなく、生活難の爲に出來ないのです。其を思へば、あなたは勿體ない、泣いて感謝しなさい。自由結婚といふと新らしくありがたいようだが『お前が勝手に捜して支度じて結婚しなさい』と言はれたならば、淋しくはありませんか、媒介が入つていゝようにまとめてくれる、そこにまた何んとも言へぬ味もございます。

◇本人同志戀ひし合つた◇

自由結婚でも、離縁となる時もある。厭ぢや〳〵といふてゐる中に、また可愛ゆいが生れる。愛情とか縁とかいふものは、全く理窟通りにゆかぬものです。若い時には、熱し易い、其が特長、石橋をたゝいて渡るは老人です、若い人と自然心が合ひませんが、然し老人のいふことも、一理あるもの、まあよく、心を落ちつけて、早まつたことをしないことです。顔は若く、考へがふけてゐるがたふといのです。

みね子さん、では尚よく考へて、もう一度おたより下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お嫁にゆく田舍の婦人へ

男爵 高木兼寛

（一）

地方を見て歩ると、近來農家に生れた女子で一通りの教育を受けると、同じ農家へ嫁ぐのを厭ふやうな風になり、年頃になつても縁付かないで、不仕合せに暮らしてゐる婦人が少くないといふ噂がなか〳〵高いやうに聞える。然し之に就ては私は若い娘たちに深く考へて貰はねばならぬ。

教育を受けた女が皆虚榮心に驅られ、農家に嫁ぐことを嫌ひ、皆外交官や官公吏を望むやうになつたら其の結果はどうであらう。官吏は一寸みると氣樂さうに、閑さうに見えるが、所謂腰辯と呼ばれる普通の官吏はなか〳〵生活も樂でない、始終苦勞の絶えないものである。けれど農家や商家に嫁ぐことを厭ふやうな婦人の望む官吏は、高等官である。してみると其の大多數は失望に終ねばならぬことは、數に因つて解り切つてゐる何故かといふに日本全國、三府四十三縣の中で、東京の如きは別として各縣に縣知事一人、理事官四五人が高等官であつて、外は皆判任官である。此外學校長や郡長等に多少高等官がゐるとしても十人と高等官が居る縣は滅多にない。してみれば、この十人と四十三縣をかけても、大抵數は極つてゐる。其の少數の人の妻にならうとするには、一人娘に婿八人位の事でなく、一人の良に二三千人の妻が出來なければならぬのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

（二）

凡て人は男女を論せず、自ら我が一身を守りかためねばならぬ。これ自己一身の自衛です。まことに此の自衛を爲し得ざる者は、人間一人としての價値のないものであると稱して、敢て不可はなからうかと思ふのであります。否たしかにその價値は無いのであります若い女が奢侈贅澤の爲に、その心を奪はれて、爲に修養を怠り、家庭の整理にも心を傾けない樣であつてはとても自衛といふものは出來たものではありませぬ。どうも現今の女子に、斯る人があつて困る。人間はそんな奢侈贅澤に心を奪はるゝ爲に生れ出たのでは、決してない。自衛せずしては、個人としての基礎は固らない。又一個人のみならず、家族共に一家を自衛せねばなりませぬ。一家の風儀が紊れ、子女教育その當を得ざるに於ては、その一家をよく自衛し得るものとはいはれない。又いま少しく範圍を廣くしていふならば深川に住む人ならば、深川そのものを自衛しなければならぬ。麹町に住む人ならば、麹町を自衛せねばならぬ。「人は人だ、自分は自分だ」といふ風に、各自勝手の心を有して、共同一致を爲さざるならば、此の深川の自衛はされないのであります。又東京ならば、東京の住人心を合せて、之を自衛せねばならず、一層進んでは日本悉皆一致共同して、而も自治心を有し、以て日本國家を護らねばならぬ、自治心のないものは、自衛とはいはれないのであります。

よく自衛を爲すとは、各自よく困難に出逢てたゆまず、よく之を忍びよく之に打勝つの勇氣がなくてはなりませぬ、男女共に、それでなくてはならぬ。然るに近來の女學生をみるに、なるべく樂な家に嫁したいと希ふ傾向がある。奥樣といはるゝを好んで、官吏、學者の妻たらんとし、又それも思ふ樣に金が入らないからとて、銀行員の妻たらんとし、それもいろ／＼の事情から思ひたる程でなければ、又他を望み、何んでもよい人から、奥樣々々ともち上げられてそして樂ができるのを好む。こんな精神では、とてもよく家を治むることはできませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會の歌

野の幸

葛原𦱳作歌
小松玉巖作曲

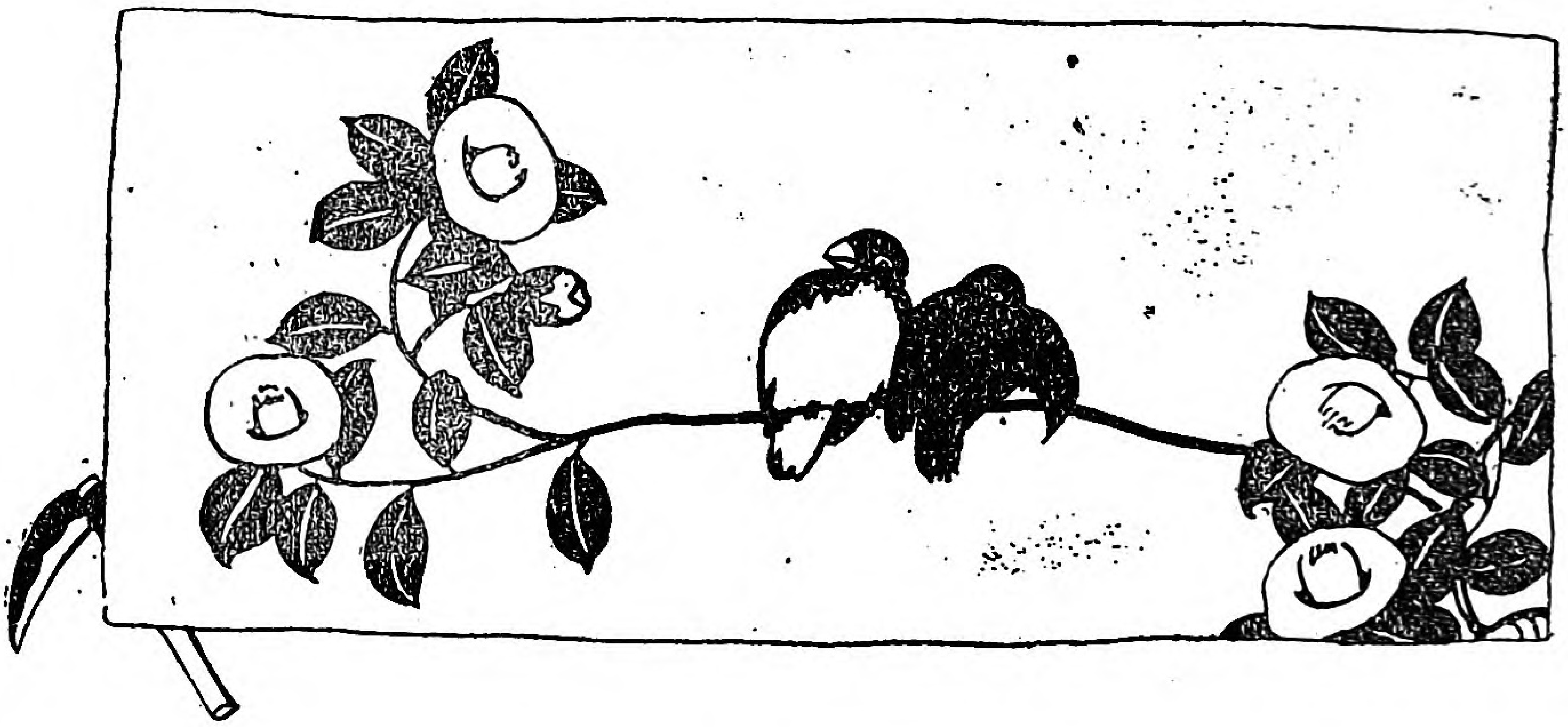
春

霞にほゝゑむ岡邊の櫻
陽炎もえ立つ廣野の菫
鶯雲雀のたのしき歌も
これみな優しき女神の賜びし
野を守る處女の我等が幸ぞ
野を守る處女の我等が幸ぞ

夏

働きをはりて木蔭に立てば
頰吹く風の涼しいかなや
働きをはりて川邊に立てば
おふるゝ泉のつめたいかなや
野を守る處女の我等が幸ぞ
野を守る處女の我等が幸ぞ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



秋

雨にも風にも心をつくし
夜に日に育てし山田の稲も
　豊けくみのりぬみくにの寶
　まじめに務めし報いをみせて
野を守る處女の我等が幸ぞ
野を守る處女の我等が幸ぞ

冬

木枯、深雪を物ともせずに
野路に谷間に白梅紅梅
　健げにかをれる強さを思へ
　處女の我等もかくこそあらめ
聞けよや女神のたふときみこゑ
強く優しくまじめに働け

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

修業のため出京する處女に

山脇高等女學校長
本會理事　山脇房子

地方の若い人々が東京にあこがれ、東京に出さへすれば立派なものになれるやう考へ、又一度東京に出たものでなければ巾がきかぬやうに思ひ込み、いろいろと兩親にねだつて、出て來られる方が隨分多いやうですが、その出京した人達の結果を見ますと、心配な事が多いやうであります。其の實例の一つ二つを、皆様の御參考にお話いたしませう。

□或る醫師の娘

東北地方の或る醫師の娘に、容貌のあまり美しくない梅子といふ處女がありました。元來身體が丈夫でなかつた爲めもありませうが、女學校在學中の成績もよくなかつた上、或年、長い病氣をして試驗に進級することが出來ず、今まで下級であつた人達と机を並べなければならなくなつたのを殘念に思ひまして、兩親にねだり、とう〳〵裕でもない父親の收入の中から學資金を出して貰つて、出京する事になりました。

さて東京の高等女學校へといふ積りでしたが、年は十七にもなり、身體は丈夫でもないので、目的通りにはならず、或る各種學校に入學しました。居所は、遠縁の知人の家に置いて貰ふ事に運びましたから、同道して來た母親も安心して、歸國しました。

□誘惑の魔の手

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

梅子は、國元を出る時、決して贅澤は致しませぬ、衣服でも持物でも成るだけ質素にしますと、堅い約束を致し、初めのうちは其の心持でしたが、さて東京の華美な風を見つけますと、自分の田舎じみた木綿のゴツ／＼した衣服が恥かしくなり、せめて銘仙位はと思ふやうになつたのが初まり、所持品や化粧品も、あれこれと買ひたくなり、だん／＼よい物が欲しくなつて手紙の度毎に母親にねだつてやります。母親は又、遠方へ手放して居る娘が心配でもあり可哀想でもあるので、無理に夫にねだつては貢いで居りました。

□醜いおしやれ

ところが、急におしやれを覺えて、白粉をコテ／＼とむらだらけにつけ、髪もをかしな格好に結ひ、それが目に立つてをかしいものですから、近所の不良少年に誘惑され、あちらこちら遊び廻るやうになりました。從つてお小遣が多くいりますから、何の彼のと國元へ送金を請求してやります。

預けられた家の人々も折々は意見をして見ましたがそれを親切だと思はないばかりか大きにお世話ですといはんばかりの顔をしますので、遂には默つて見て居るといふ風でした。

□世間狹い此頃

國元の方ではどうも樣子が變だと氣がついて、母親が上京して見ますと、僅一年たつかたゝぬに、娘の樣子が全く變つて、まるで醜業婦のやうな風を致し、擧動も全く落付きませんので、非常に驚き、早速連れて歸らうとしましたけれども、いろ／＼ゴマカシをいつたり強情を張つてナカ／＼應じないものですから、正直一方の母親は困つてしまひ、父親に電報をかけて來てもらひ、無理々々に連れて歸りましたが、東京での不始末が輪に輪をかけて大きく噂されるやうになりましたので、今年二十三か四にもなりますが、今尚縁談もなくて世間狹く不愉快に暮して居るといふ事であります。

此例の中に大きな教訓が含まれて居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

世が進むと家庭が淋しくなる

家庭學校長　留岡幸助

苦樂を共にする

家庭で一ばん大事なことは家族が苦しみを分け、樂しみを共にするといふことである。この精神あればこそ、平和に睦まじい家庭といふものが營まれる。親が子を教育するに誰が報酬を貰はうと思ひませうぞ。子が親の病を看護しますに、誰が月給をあてにしませうぞ、利害損得を離れて、心を一にするといふ所に家庭のたふとさがあるのである、この精神は家庭より廣く社會に及ぼし、社會の人が皆苦樂を共にするといふようにしたいものである。

我が家ほどよき所なし

然るに、世の中が進歩し、時代が移り變るに伴れてこの家庭の情味が段々乏しくなり、家族が團欒して語り合ふといふ時が少くなつて來た、文明が進み家庭の

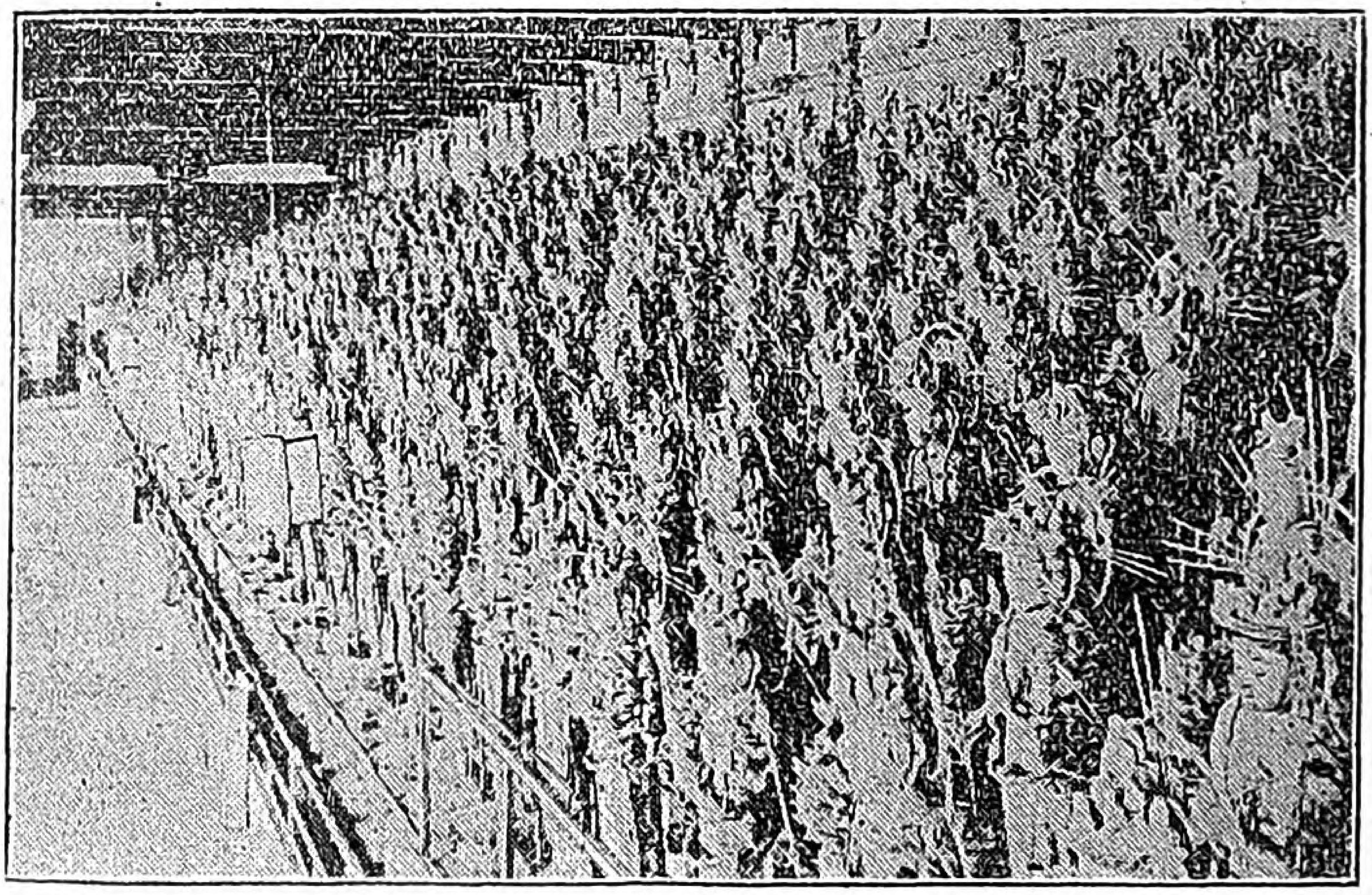
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

情味が薄くなるといふことは、甚だ妙なわけである。此は我々の深く考へねばならぬことである。

その原因にはいろ〳〵あるが、主なことを二三あげるならば、田舍の人たちの町に入つて來ることである、皆さんも御承知の通り町は段々大きくひろがり、住む人は日に月に殖えるばかりである。此等の人は多く田舍から職業をもとめに來た人なのであるから、多くは家をもたない。借家住ゐである。この借家住ゐといふものが、家庭の溫味をそぐ一つの原因になつてゐる。

家は家族の精神の結晶である。わが家ほどなつかしくたふといものはなかるべき筈である。家を愛しなつかしむ心がやがて、家族の一致といふことにもなり、隣り近所との親しみを增すことにもなるのである。然るに、町の人は借家住ゐが多いばかりでなく、年中移轉ばかりしてゐる、こういふ人たちには、ほんとうに家庭のたのしみは味はれないといつてよろしいのである。尤も町の人たちも、故と家の引越しをするのではない、勤めの具合で致し方なく家を換へる人もあるのであるが、何れにもせよ、定つた、自分の家がないといふことは家庭生活の情味と深い關係がある。

京都名所三十三間堂



圖子供の顔が見られない

京都　大野きよ子寄

其から町の人はみな勤め先をもつてゐるが、其は田舍のやうに家族揃つて野に山に、働き、入相の鐘に送られて歸ると

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いふやうな自由な勞働でなく、五時六時又は夜遲くまで會社なり、銀行なり、工場にいつて稼がねばならぬ家に歸る頃はいつも灯し頃である。いや勞働者になるともつとズツと遲い。家へ歸つてみると、子供はもう寢てゐる。そうして朝は早く出かける。ひとつ家に居つて父と子と親しく話し合ふ折が少いのである。子供の敎育は學校ばかりで出來るものでない。家庭のしつけが一番大事である。然るに肝心の父親が仕事に追はれて、疲れてわが子の敎育をみることが出來ないのである。こういふ家庭に、よい子供が出來るとは思はれない。然し是は勞働者のみの罪でない、勞働者が今少し早く家に歸つて家庭を樂しむことが出來るやうに會社なり、工場なりが、ちと奮發せねばならぬ。又銀行員會社員などの中には勤めといふよりは、寧ろ遊んで居つて家に遲く歸るものがある。勤めが了へてから球をつくとか、碁をうつとかおまけに夕飯まですませて遊びほうけて疲れて家に歸つて寢てしまふ。朝寢坊してゐる中に、子供はいつの間にか學校へいつてしまふ。一週間の間子供の顏をみなかつたといふ父があつた位である。こういふことでは、家庭は何んの爲になるか、甚だ嘆はしいことである。

■親子の別れ

然し家には子供にとつては女神ともなつかしい母がゐる、父親は朝から晩まで家を外にして働いても、わが家には、慈愛深い母がゐて、家庭のしつけを十分にする。父の敎育の足らぬ所を母が補つてゆくのである

然るに、近頃は、この家庭の女神までも、會社に銀行に、工場に出稼ぎせねばならなくなつたのである。是道樂でするのではなく、こうせねば、暮らしが立ちゆかぬのである。夫は甲工場へ、妻は乙工場へ、家には鍵を卸ろして早くから出かけ、一日の勞働に目をくぼませて歸つて來る。幸か不幸か子供のないものは、まだ始末がよいが、子供のあるものは、どうしても托兒所に預けねばならぬのである。託兒所か保育所には深切な保姆がゐて母の如く世話して吳れるが、しかしほ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

んとうの母の愛にかなふものはない。よく〳〵考へねばならぬことである。

又近頃簡易食堂といふものが出來た。是は月給取や工場勞務者の爲に出來たものであつて、一食十錢で手輕に食事が出來て重寶なものではあるが、夫も妻も子供も此處で食事するといふ具合になると、家庭はどうなるか。全體食事は家族揃つて笑顔を以て圓るくなつて食べるが本來である。食事の時が一日の中一番樂しくなつかしくあるべき筈である。又ほんとうの子供のしつけは、この時に出來るのである。然るに、食堂に入つて、どこの人かわからぬ人と向き合つて、大急ぎでかつ込んで、サッサと出てゆくといふことは、甚だなつかしみがない。是も家庭の情味を薄くする一つのわけである。然し是も固より時勢の要求で、勞務者の爲に出來てゐるものである。誰しもわが家で食べたいのであるが、其が出來ないのでこういふものが出來たのである。簡易食堂が惡るいといふのではない。只こういふ所で大勢して食事をするやうになることは、なつかしいなりゆきでないといふことは明らかである。

回不良少年の出所

其から町は商工業が盛んで、大金持のある代りに、貧乏人も少くない。この貧富のへだゝりが大きくなるといふことは、まことによくないことで、いろ〳〵の不吉な事件はこゝから芽生えして來るのである。本所下谷あたりの貧民窟にゆくと、六疊敷に親子夫婦の住んでゐる家が澤山ある。其がめい〳〵子供をもつてゐる、こういふ家でどうして子供の敎育が十分に出來やうか。どうしても家庭が、中心である、私は二十年も家庭學校に於て子供の敎育をして來て、不良少年をも大分敎育したことがあるが、十八の九人までは、家庭のしつけのよくない所からよくない子供が生れる。學校は第二である。

以上述べたように、文明が進むに伴つて、家庭は幸福になり賑やかになる筈であるのが、反對であるといふことは、皆さんよく考へて貰はねでならぬ所である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

婦女美談（忠婢と工女）

○上原大將家の忠婢さく女

夫人の溫き手に看護られつゝ哀れに美しき五十年の生を終つた

女中拂底の聲の喧しい今日二十六年間その家族の一人と憂ひを共にし悦びを分ちつゝ遂に主家の人達の溫かい手にみとられて死に行きし世にもあはれ深く美しい一老女の話がある老女名は高橋さくと云ひ明治四年十一月北多摩郡千歲村の一百姓家に生れた彼女が若き日に都にあこがれてたより來つたのが今日の世にときめく陸軍參謀總長上原大將が若夫婦時代の家庭であつた廿五に滿たぬ田舍女は桂庵の手によつて己が死ぬ家に運命づけられたとは思はなかつたであらうにマントルピースの焰のちろ〳〵と燃えるのを淋しい眼に見詰めながら上原大將夫人槇子はしみ〴〵と長い物語りを繰り擴げて行つた『ほんとうに途方にくれました今

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

日も家宅捜索といふ有様なんです何から何まで家中の事を任せて置ましたのでどこに何があるのかさつぱり分りませんさくは今から廿六年前の九月に宅へ參り翌年に　私共の子供が生れましたが五人の子供はまるで親のやうに懐て居りましたそのかはり家の人とちつとも變りませんで世話もやきましたしおこりもしましたが一つも家の爲を思はない事つてありませんでした宅に居ります間にも縁談も無いではありませんでしたがつい結ばれませんで過ぎました今月の十四日の晩でした急に頭痛がすると申して醫師やら手あてやらで大騒ぎをしましたが翌朝の一時過ぎにとう／＼腦充血で倒れてしまひました田舎へは電報が間に合はず使を出したのですがとにかく急なので氣の毒な事をしました兄が家を繼いで居りますので葬式は實家の方で營みましたが世話になりましたので子供も私も行つて埋めるのまで見屆け心から葬つて參りましたさくと同様あの家の人は皆正直で後々の事まで相談してくれますのですよ……ほんとうに人間の正直といふことは何よりの寶です簞笥に鍵をかけたり更にその鍵を腰につけて出たりなさる奥様があるさうですが私はその樣な事は思つてさへ見ずに過されました廿六年間ほんとに私は樂でしたがこれからまたさくの代りをしなければならなくなりました只今居ります四人の女中はまだ年期が經ちませんが今の前のは七年八年と續いたのが皆結婚してしまひました。馬丁も十年以上居ります。勞働問題とやら世の中が段々變つて參る樣ですが人情を申すもの、切り賣りはみつともない様に思はれます……』としみ／＼と語られる夫人の心の中には椅子一つ花瓶一つにも老女の手のあとが思ひ出されるらしい二十六年といふ年月は他人といふ分ちを目に見えぬ心の絲で綴ぢ附けてしまつたのであらう。（國民新聞より）

◎婦女美談を募る

孝女節婦よい子守模範工女其他善行婦人の事績をつのります。誌上へ掲げました分にはお禮を差上げます

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○女工さんから二十五圓の寄附

埼玉縣入間郡
毛呂尋常高等小學校長　金子一郎

○

大野たけ子は、ことし十九歳でありまして、毛呂村に生れましたが家庭は極めて貧困でありましたので、家をたゝんで越生町に借家住ゐすることになりました。たけ子は父母と一所に住み馴れた毛呂村を後にして越生町に移りました。然し母校と別れるのがいやだといつて、越生町から一里もある私の村の學校に通ひました。なか〳〵心のしつかりした生徒でありました。

○

たけ子が家の爲に東京府下大井町毛織物株式會社の工女となつたのは、大正四年のことでございました。生れつき物事に熱心で心のしつかりとしたたけ子は、大勢の工女の中に交つても、少しも惡い風に泌みません。一生懸命働いて貯金し、父母に送金して居りました。大正九年一月の休暇に故里に歸りました。父母の喜びは申すに及びません。その翌くる日私の學校に參りまして、いろ〳〵と會社のことを話したりしまして、婦人雜誌を寄附してくれました。

○

二月十三日、私の學校は思はぬ過失から火災を起し全燒になりました。之をきゝましたたけ子は貯金の中から二拾五圓を學校の新築費として送つてくれました。かよわい工女の身としてかういふお金を寄附してくれたといふその志に對して村の人は何んとも言へぬ感謝の情にうたれて居ります。（談）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

人の品位

福島縣須賀川實科高女教諭　小林長吉

◎

我々が店頭に立つて、何なり品物を買うと致しませう。店員は望むがまゝに多くの品物を出して見せてくれます。我々はその中から良い物を撰り出して買ひ求めるでありませう。實に品物には上中下の等級があり、又その中にも幾段もの差があります。

獨物品ばかりではありません。我々人間にも同じ様に差等があります。人は萬物の靈長といふ語がありますが、これは萬物中で人が最高の品位に在るといふ意味であります。

◎

太閤が曾て群臣に向つて『世の中で一番多いものは何か』とお尋ねになりました時に、前田大納言でありましたか『人で御座ります』と答へられましたさうです。すると太閤は又『然らば一番少いものは』とのお尋ねに大納言は再び『同じく人で御座います』との答に流石に太閤も頷かれたといふ話がありますが、最も多いものも人、最も少いものも人とは面白いではありませんか。古歌に

人多き人の中にも人ぞなき
人になれ人、人になせ人

といふがありますが、さて今日渾圓球上の人類は十六億と云はれて居りますが、その中で優れた人、敬す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

べき人、無ければならぬ人は果してその幾パーセントあらうと考へて來ますと、前の問答も古歌も實にもと肯かれるでありませう。

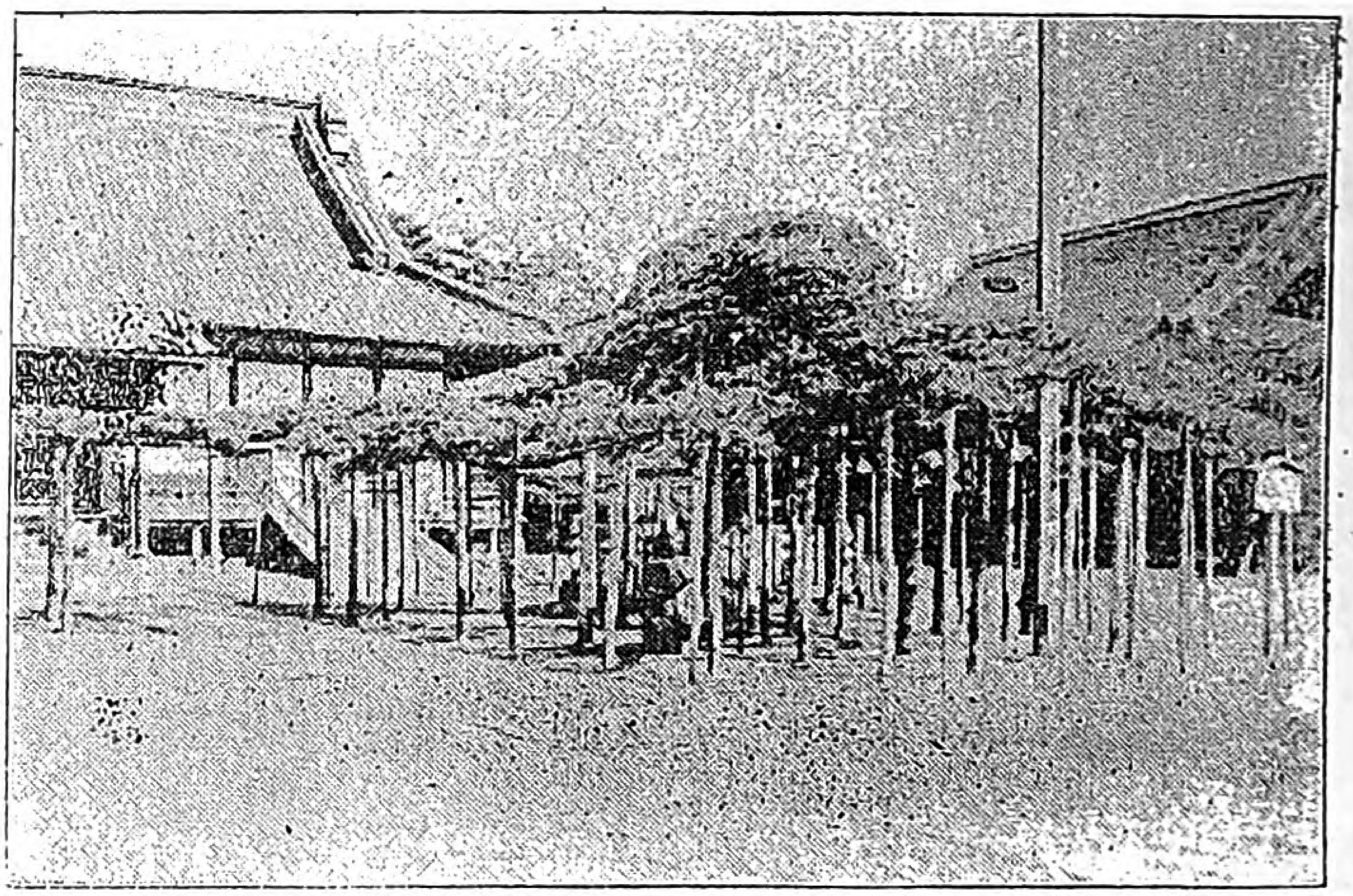
◎

『人心の同じからざると猶その面の如し』とか『十人十色』とか云ふ語がありますが、實に人はその體質も心質も皆夫々異つてゐて、一人として同じいものは有りません。この個人々々の特質を個性と申します。而してその個性には各々長所と短所とがあります。美點と缺點とがあります。さて飜へつて修養といふ語の眞義を考へて見ますと、要するにこの美點なり長所なりは益々これを存養發揮すると同時に又短所なり缺點なりは之を補ひ之を矯めるといふに歸着するのであります。若も人々が各完全圓滿なること神の如きものでありましたならば、修養といふことは畢竟無意味なものとなるのです。されば又修養とは完全に向つての努力であると申しても差支ならうかと思ひます。

◎

草木を見ますと其種類は千差萬別でありますが、その用途といひませうか効用と申しませうか、亦夫々異つて所謂適材を適所に用ゐられて居るのでありますが、人に於けるも亦かくの如く、複雜なる人の世は多方面に人を要します。若も草木が一種類でしたらその結果は如何なりませう。さて人も千萬人皆同じ型でしたら如何でせうか、單調無趣味にして、進歩も發展もないのは申すまでもなく、寧ろ退歩滅亡に終るに相違ありません。それですから何を苦しんで人を眞似し、あたら天與の美質を賊つて居られませう。只々人は能く反省し自覺して自己の天地を見出し、そこに十分の働きの出來るように修養せねばなりませぬ。人の品位の高卑上下の因つて岐るゝのも、つまりはこの修養の深淺如何に依ることゝ思ふのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



上州名所大光院

呑龍上人お手植松

鳥之郷の婦人會をたづねて

——群馬縣新田郡鳥之郷村——

(一) 私の里のような

去年の十月東京見學に來られたとき、案内したのが縁となつた鳥之郷村婦人會員から遊びに來なさい、呑龍上人で名高い大光院に御案内しますと、しきりにすゝめられますので、二月二十一日に淺草驛を出發して鳥之郷村にと向ひました。前の晩雨がふつたが、この日は日本晴の上天氣となりました。

夕方三枚橋につきますと、會長の齋藤先生がお迎ひに來て下すつた上に、會員が大勢外に待つてゐて下さつて『先生々々』と手をとつて下さる。何んだか自分の里にでも歸つたような氣持が致しました。

(二) 奥さんのお琴

この村は戸數五百戸ほどの平和な村で、農家が多うございます。その夜は大地主の堀越樣のお宅に泊めていたゞきました。村の有力者や先生方といろ〳〵お話を致しました。私の參りますことを、會員は固より父兄も喜

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

んで待つて下さつたと伺つて、ほんとうにうれしく思ひました。堀越様の奥様のお琴などを伺つてゐまして、夜の更けるのも知りませんでした。伴場しげ子様にもいろ〳〵お世話になりました。

(三) 顔なじみばかり

コケツコツコーと勇ましい鶏の聲に目をさまし、雨戸をあけますと、昨日にまさる上日和、東の空がポーツと明るくなつて名高い金山が墨繪のように見えます雀のチユウ〳〵鳴き合ふのもなんとなくのどかであります。ふと私はふるさとの春げしきを思ひ出しました。おうどんや、お雑煮をいたゞきました、といふのは、丁度その日が舊のお正月、今時分舊暦も妙だが、田舎にはまた田舎の習はしがあります。

十時頃婦人會場にまゐりますと、村中での有力者大島様がもう見えて居られます。やがて會員は三々五々學校に集ります。お顔を見ると、さすがにお馴染が多い。

齋藤先生の開會の辭、大島様の青年會と婦人會(處女會)とは仲よくせねばならぬといふお話しに亞いて私は次のようなことについて二時間も下手なおしやべりを致しました。

強く優しくまじめに働くこと。優しくて評判の日本の子守の話。勇ましい海人の働き。工女即ち孝女なり。貴婦人の定義。孝女を訪ねたお話。

永い間みんな熱心に聞いてゐて下すつたことをうれしく思ひました。

(四) わたし上州金山そだち

それからお午をたべまして、會員中の有志八十名に案内されて名高い金山に登りました。金山は千尺位な山ですが、頂上に新田義貞を祀つた新田神社がございます。全山みんな松ばかり、青々として丁度畫のよう。

わたしや上州金山そだち
外に木はないまつばかり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

といふ名高い唄もございます。

東京の案内は私し一人でしたが、こんどは八十人の案内ですから心丈夫です。お正月で着飾つた娘さん八十人に手をひかれて、松林の中を分けて登つたたのしさ。昔の子の日の遊びを思ひ浮べました。

頂上の新田神社にお參りを致しまして、四方を見渡しますと、赤城、榛名山は云ふに及ばず、遠く日光の連山が見下ろされ、鑛毒で名高い渡良瀬川が白い蛇のうねつたように見えます。その眺望の廣々しいこと胸も開くやうです。

此處で記念の爲に寫眞をとりましたのが、口畫にある寫眞であります。境内の梅の花がチラホラと咲いて鶯を待ちかねてゐます。

(五) 孝子つる殺し

境内の一隅に養氣樓といふお茶屋がございます。そこで茶話會を開きました。お菓子が出る、みかんが出る。みんな車座になつて話し合ひました。巡に廻した『お房さん』(都にあこがれて)の寫眞は評判になりました。常見樣のお話のあとで私はまたお話を致しました。

其から山を下つて、飛行機の製作場を見學し、名高い大光院に參詣致しました。

淨土宗の名高いお寺であります。大きな構へで、庭も廣く鶴など飼つてあります。節分の夜の豆まきの賑はひは大へんださうです。方々みせていたゞきました。

鶴殺し孝子源治兵衛のお話をきゝまして、上人のお情にも感じましたし、孝子の心にも同情致しました。

會員は疲れた樣な顏もせずニコ〳〵としてゐます。『こんど合ふ時はもうみんな母となるでせう。優しい母となつて、子供を抱いて』などゝ考へると、今日の一日は、生涯にもう二度とない思ひ出の日であることがわかります。

此處でお別れして私はその夜は長念寺へ泊めていたゞきました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

暮し易い農村生活

新潟　農家の主婦（寄）

（一）

私は日頃農村に生活して居ることを感謝して居ります、貧富の懸隔が此頃の樣に甚しい事はありますまい、一幅の書畫一箇の器物に數萬圓を惜まない人があると思へば其日々々の御米を買ふ代にも困つて居る人もあります併しこれは兩極端としまして、都會に御暮しの御方殊に俸給生活をなさる丶方々が生活難を叫ばる丶は寧ろ當然の事と存じます又中にはいはぬがいふにいやまさるで默して御出の御方にもより以上に御こまりの方の多からんことは想像にかたくはありません同じ町の親戚などを訪問しますにも自家産の鷄卵の十か二十も藁苞にして携へるか、豆小豆の類を袋に入れて持ち行けば結構先方でもよろこびます又葬式さわぎなどがありましても僅に十錢か二十錢の香奠にありあひの野菜、吉事には赤飯の五錢か七錢の櫃を送りますこれ等も町の樣にふかし賃から値に見積つたら隨分大したものでせうが米をつかふことは少しも痛痒を感じません臨時に來客のあつた時などにも勿論料理屋や仕出し屋などがありません

土戀ひし

柏村玉溪

□

日輪は既に山で見えなくなつた、遙かの山々の上には、赤や青の彩雲がまはりをぼかした樣になつて散らばつて居る。濕つぽい色があたりの山々を艷々しく見せる。私は田圃の中の小川の岸に立つた。

□

小川の岸傳ひの井戸端には、可憐な處女のか弱い腕が、あらわに白く光つて、襷をかけた病弱の、痛々しい姿をかがませて井戸の水を汲んで居る。その凉しい戀しげな瞳は汲み上げる毎に見るともなくこちらを向く。夕闇は容捨もなく彼女の身邊を包んで、たゞ白い顔のみがぽつかり浮んで居たが、二三杯汲みあげると後ろを見せて家の中へ入つて了つた。それ切り出て來ない。田圃は段々と暗くなつて來た。田圃の小道には山から薪木を背負つて歸る人の影が離ればなれに續く。街道には魚賣の女が三々五々かたまつて、空になつた籠を頭にのせて歸つて行く。彼等の帶の所は魚の賣上げでフックラ膨らんで居る。のんびりした笑聲が道を進んで行く。

□

ずんずんと進んで行く女達の前に大きな斑牛が引き出された。牛は中々動かうとしない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

から鹽引や筋子や色々の漬物、それに畑よりとりたての野菜で料理しますが御出になつた御方も少しも不滿とは思はれません。

（二）

俸給生活でも何故都會の御方は田舍の方より苦しいかと申ますと第一衣服、持物、音信、贈答品が派手だからであらうと思ひます。そこへいつて氣樂なのは農村生活ですいでや私共の生活の一斑を御話申ませうこれは決して都會の方に羨ましがらせ申す爲ではありませんが農村に御暮しの此處女の友の御愛讀の皆樣は私と同じく感謝して下さい。

絹物は勿論木綿物も相當高くなつて居る今日私共は木綿物の洗ひさらしたのに色紙をあて丶着て居ましても誰の目にもつきません子供等の學校着は勿論垢のつかぬといふ程度で男女共前掛をしめて居ます。

子供の間食にしましても秋などは殆ど何もいりません（改めて用意のいらぬ事）うらへ出れば柿あり梨あり栗あり葡萄あり又甘藷ありでこれ等のもので充分です町の御方は衞生上わるくはないかと御氣づかひでありませうがそれに慣れては何も障りません又寒中にかき餅や霰を澤山こしらへて置きますからこれを燒き又は煎つて與へ

ので牛飼の少年はもてあましてゐる。

彼等は少年をからかひ乍ら立ち止つて了つた。頭にのせた籠が五つ六つ一ト所にかたまつてゐる。牛は漸く動いて牽かれるにまゝにジヤブリ〳〵と音を立てゝ小川の中へ入つて行つた。　ると魚賣の女達も亦歩き出した。

夕闇は愈々迫つて牛の斑ら模樣の黑白が薄ぼんやりとなつて、小さな目はどこにあるのかわからない。

月の光はいつの間にか山影から射て居る。小川には銀の小波が立つて居る。

やがて月の光の中に牛の少年は鞭を振り上げた。鞭は振り上げられたまゝ黑く斜めにとまつて居る。

力をこめた一鞭が打ちおろされた。そして少年は廣い横腹の所を押し遮二無二牛をゆすぶると、じやぶじやぶと二三歩横に動いて又とまつて了ふ。

□

少年は飽きずに鞭を振り乍ら叱々と聲をかけた。今度は素直に動き出した。月に照らされた水泡が脚に卷き附く。

牛の足下には銀の漣がきらめき寄せる。

私は後振り返り乍ら家に歸つた。

牛と少年の二つの影は依然として小川の中にあつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ます、又豆をいるとか蠶豆をゆでるとか子供の間食物は實に豊富ですから御菓子などは人様よりいたゞいた時の外は滅多にくれません其の爲か町の子供によく見受ける様な乳歯の味噌ッ歯といふものが少う御座います。

（三）

たきものにしましても町の御方は焚付から附木までも御錢を出して御買ひになります私共では苧がらを五寸位に切り其端へ硫黄をつける丈です又屋敷のうちどこを少し掻いても一ト釜位の御湯のわく程のたきものが出ます大風のあとなどに少々注意すれば折枝や松杉の葉が非常に澤山出ますから本とうの薪などはいくらもいりません。

それに町では水までも買ふといふではありませんかそれで買つた水は夏はぬる／＼冬はつめたいのに反し農村の井戸水は夏は非常につめたく冬は息がたちます數へ上げればまだありませうこんなに暮しやすい田舎をすてゝどうして都に憧憬るゝ方があるのでせうそれに新聞あり雑誌あり新智識の新刊書も居ながらにしてとりよせられる今の世精神修養なども自分の心次第でいくらでも出來ると思ひます。

口繪寫眞説明

本號口繪の寫眞は、東北地方の雪國に一般に用ひられて居る紋平袴を着けたものであります。服裝改良論のやかましい折柄、この我國固有の活動的服裝は、確に參考の一端にならうと思ひましたから、菅野猪苗代處女會長に其の説明をおたのみしました處、次の如き親切な説明文をおよこし下さいました。（記者）

○紋平袴につきて

福島縣耶麻郡猪苗代町處女會長　菅野三郎次

一、名稱及文字 古來武士の用ひたる物部袴に由來したるものなれば儀式上よりも差支なきものなりとて曾て會津中學校長たりし淺岡一氏は之を生徒に着用せしめ以て制服となしたりき、文字は今紋平と書けども國音の相通ずるより來れるにて何等他の意味あるにあらず

二、種類 形態用途相類するものに踏込、紋平、裁付、猿袴等あり踏込は裾稍〻濶くして衣裳の下部を纏ふの便より其の下部を括れば裁付(又立付)となる、裁付は股、脛巾、脚絆を合せ作りたるものにして旅行用の具なり紋平は普通袴の裾を狹めたる態のものにして先には腰板を付したれども今此の地方に用ふるものには之を付せず座業者に便なり、猿袴は紋平の更に狹窄せられたるものにして田野

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

都會にて身心を疲勞せらるゝ御方暑中休みにでも少々氣晴しに御來遊如何新鮮の野菜で御もてなし申ます。

(四)

只一ッ私共もつく〴〵都の御方を御羨み申すことは家内に病人のあつた時です居村には醫師一人もなくどちらへゆくにも一里近く行かなければ迎へることが出來ません餘程重くならなければ隔日にさへ來られません若し市から學士又は博士を迎へんとするには多くの金がかゝりそれで一回診ていたゞいて處方箋をいたゞく位です此不便は到底町に御住居の御方の想像も及びません。

○地方婦女の向上の爲に

愛媛　河内みつ子

(前略)私は出稼處女の連絡につき極力述べた處二三名を除く外は對岸の火災視して耳を傾くる者なく、心中悲憤の涙を流し申候、又去月二十七八日敎務研究會の際にも處女指導に關する話題出で候故各校一致して根本の出稼婦人愛護に努力するの必要を述べ候處、其は役場にてなすべきことなど申し一向熱心ならず、誠になげかはしく候。然しどこまでも地方處女及婦女の味方となつて努力致したく覺悟致し居候(下略)

に勞働する場合及外出の時に用ひらる、而して男女に依り縞柄等を異にする外形態に著しき差違を見ず

三、傳播の由來　會津地方に夙くより行はれたるは踏込、猿袴の二種なりしが明治の中頃に至り米澤地方より今の所謂紋平なるもの流行し來り(米澤地方にては紋平さいはず して裁付さ呼ぶ)今は專ら猿袴紋平の二種を備へ用途に依りて更る〴〵之を用ふ

四、利害得失　座作進退の場合に裾を引かず、衣裳の裾をよく括り得るが故に寒氣の場合、よく溫を保つを得、猿袴着用の際は衣裳の裾を腰部にまくり上ぐるが故に紋平に比し暖ならざれども習慣さなれるものには苦痛を感ぜず、兩者さも衣服の破損を防ぐの効大なり、只一の缺點さも見るべきは男子は兎も角女子の服裝さして美を缺くの一事なり(但會津地方にては晴着の場合は特に晴着用を備へ平氣に之を用ひつゝあり)されば一般に流布せしめ之をして現代服裝改造の叫に應ぜんには尙十分の工夫を凝らし形態の上に美觀を具備せしむるの要あるものゝ如し

五、使用の狀況　老若男女悉く之を用ひざるなし學童は勿論、小學校敎師も官公吏も降雪期間は必ず之を着用して外出をなす、蓋し雪の地方にては之に依らざれば到底自在に雪中を步行する能はざればなり、近年本縣の各地方益、之が流行を來し小學校に於ても全校兒童をして着用せしめつゝあるを見るに至れり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

新講談

描かれた娘（三）

天野雄彦

『御冗談でございませう、醜い妾の此姿が繪になるものではございますまい』

『いや繪かきは何でも繪にする、お前の其姿、きつとよい繪になります、私は京洛の繪師で圓山應擧と云ふものだ』

『それでは本當でございますか』

『本當だとも　ついては　お前が今、一念は通るものでせうかと云ひなさつた、あの形をしてください』

『これでよろしうございますか』

『それでよい　それでよい』

應擧はすつかり、繪にかいた、

『さあ　このやうにかきましたがほんの形ばかりこれに、色艶をつけてかき起せば、立派な御前の姿が出來て來る』

『マア本當に描いて下さるのでございますか、十八年の生涯泡のやうに産れて、泡のやうに消えて行く身と思ひましたに、せめて尊い繪かき樣に、かいていたゞいて、病みやつれた姿でも、あとに殘ると思ひますと、妾は嬉しうございます』

とニッコリ笑つた顏の淋しいこと、應擧は立つて歸らうとすると、

『マア　お待ち下さいませ、お禮がいたしたうございます、百貫のかたに編笠とやら、ほんのお禮のしるしを』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

としきりに何かさがしてゐるようですが應擧は
『何の禮ごころか、それよりも氣をつけて、なほつたがよいぞ』

と、云ひ捨てて、歸りました、それから寢ようとしましたが、例の『人の一心は屆くもので』と云ふ顏が目の前にちらつきました、翌日は忙がしく、翌々日も忙がしく、四五日たつた、ある日の夕ぐれ、應擧は弟子を呼びまして

『オイ二人共　今日は暇をやるから遊んで來なさい、大分四五日勉强したから』

『ハイ　有難うございます、あゝこれはお小遣迄下さいまして、どうも每度』

二人は出て行きました、あとには一人應擧先生あまり深くも、行けぬ酒、一二杯傾けて、枕につきました、あの娘はよくなつたかしら、早くよくして親御にあはせてやりたいものだと、思ひ乍夢に入りました、夜はだんだんとふけ渡り、草木も眠るといふ刻限、何行の寺で撞いたか、鐘の音がボーン、ふと目をさました應擧が、四邊を見ると心の思ひなしか、有明につけた行燈の光がボンヤリしてゐる、その光を通してヂッと先を見ると、大きい唐紙がスウーと開いた、影に何人が居るやうだ、

『誰だ、誰だ』『ハイ妾でござります』と女の聲

『妾とは誰だ』『ハイ御免下さいませ』とはいつて來た姿を見れば、さても美しや、背のすらりつとした、友禪の着物に錦の帶、何處かで見たやうな顏だが覺えがない、

『お前は誰だつたかね』

『お忘れでございましたか、妾はあのお藥をいたゞいたり、姿を描いてもらつたりいたしましたものでございます』

『ヒエーそれでは山屋の、さう云ひなさると、なるほどそのやうでもあるが、それにしてもそんなによくなんなさつたか』

『ハイお蔭樣で、あの藥をいたゞきますと、薄紙

をはぐやうに、癒つて參りまして、今は此やうな元氣になりました、何はおいてもとやつと御主人に願ひまして、夜中乍お禮に參りました、さて先生これはほんの妾の　志、長者の萬燈より貧女の一燈とやら』

と云ひながら、取り出した錦の布片

『これは妾が、親に別れました時、お守袋になつてゐましたもの、人に見せましたら、高麗錦とやら云ふ古い切片、大切にしておきなさいと云はれまして、今日迄大事にしまつておきましたほんのこれは私の　志、どうか何かにお使ひ下さいましたら妾の氣がすむと申すものでございます』

と取り出したので、應擧はとりあげつくづく見て、

『イヤ結構の切片だ折角の芳志いたゞいておかうそれにしてもお前はよい女になんなさつたね』

『先生、先生、何を云つておいでなさる、あなたは最前から、うなされて居なさる』

とゆり起されて、初めて目がさめ、四邊を見廻はして、

『あゝ、そんなら今のは夢かナ』

『夢かなではござんせん、えらい寢言を仰やいました、よい娘になつたナ、などと一體何の夢でございました』

『支度をせい』

『何の支度でございますか』

『繪をかく支度だ』

『先生、あなたはどうかなすつてお出なさる、夜中ですよ』

『今、マザマザと夢の中に見た女の姿、消してしまうは惜しいことだ、繪にかいて殘しておかう』

弟子は何だか、薄氣味惡く、それでも師匠の命令故ガタガタ顫へ乍支度をしました。やがて、繪の具もならべられた、繪絹もひろげられた、應擧

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

は燈火をかきたてゝ夢の繪をかきました。思ふことは夢に見ると申します、夢に俳句をよんだり、夢に和歌を思ひついたりしますことがあります、どうしても解けぬ算術の題を夢にとくことがあります、中には夢に金を拾ふ人もあります、朝とく起き出で見れば金貨が落ちてゐる。

『しめた、朝起は三文の德、これは大儲だ』と思ひ乍拾はうとすると、あひにく凍りついてゐる、棒千切で碎いて見たが、その氷の固いこと、どうしてもくだけぬ。此處に一策を案じて、卑陋の話ですが、ヂヤアとやつた、そのぬくもりでとかうとした、やがて金貨を拾はうとしたら、目がさめた、金貨の方は夢でしたが今一つの方は本當で、洪水にあつたやうだつたと云ふ話もあります、只今の內務大臣、床次さんのお書齋に油繪の額がかゝつてゐます、日光の中禪寺湖ではあるまいかと思ふような繪です、その油繪に墨黑々と、夢中談夢爲正夢』題床次君夢繪、鐵舟山岡鐵太郎としてある、床次さんのお話によると、父君が大層油繪がすきで夢に見られた不思議な景色を、翌朝かいておかれたものださうです、これは、先帝陛下の御叡覽にあづかつた繪ださうです、

應擧先生はすつかり、かき上げました、それから七日ほどたつて、先生は又有志の人に招かれて山樓へ行くことになりました、先生の胸はをどつた、あの病氣の娘がよくなつて、あの夢に見た姿をしてお禮に來るのではないかしら、正夢と云ふ事もあるから、どうかさうであつてくれゝばよいがと思ひ乍出かけて行きました、しかしいくら待つても娘は出て來ません、應擧は松といふ女中頭に尋ねました、

『松や、此家には病つてゐた娘がゐたナ』

『マアよく御存知でいらつしやいます、お蝶さんのことでございませう』

『それ、それ、よくなつたか』

『可哀想に亡くなりましてございます。』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

修身歌かるた(上)

島根縣那賀郡伊南村　宇津井處女會選

に　濁り江に人をも身をも沈めずに助け合ふこそ清き世渡り

か　家内中仲のよいのか寶船心やすくも世を渡るなり

つ　つつしみを人の心の根とすれば言葉の花も誠にぞさく

よ　善惡の友を選ぶが何よりの身をば修むる元とこそ知れ

お　恐るべき槍よりこはき舌の先之が我身をつきくづすなり

こ　米蒔いて米がはゆれば善に善惡には惡が報ゆとぞ知れ

あ　あがつたりまたおちぶるるものとしり釣瓶の水もむざとつかふな

へ　へつらひて樂しきよりもへつらはで貧しき身こそ心安けれ

ふ　父母によばれてかりに客に來て心殘さず歸るふるさと

う　うきよをば何のへちまと思ふなよぶらりとしては暮されもせず

つ　つかのまもゆだんをするな一時が千里のちがひとなると思ひて

た　樂しみは春の櫻に秋の月夫婦中よく三度食ふ飯

か　かごかきも乘手も同じ旅なれば一足づゝに足は近づく

こ　子を思ふ親はご親を思ひなば世にあり難き子とや言はれん

あ　明日も亦朝とくおきて努めばや窓にうれしき有明の月

わ　我れにある寶をしらぬ愚かさよ世界のものをほしがりぞする

わ　我れといふ心の鬼がつのりなば何とて福は内

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

に入るべき

さ　三度炊く飯さへこはしやはらかし思ふままにはならぬ世の中

わ　我といふ小さき心すてて見よ三千世界に障るものなし

は　花は根に鳥はふるすに歸れども人は若きに歸ることなし

よ　吉野川其源を尋ぬれば木葉の雫花の下つゆ

な　爲せば成るなさねば成らぬ成る業を成らぬと言ふは我なさぬなり

は　腸の洗濯しても又しても生れつきたるあかぞ賤しき

き　氣にもつかず目にも見えねど何時の間にほこりのたまる袂なるらん

は　はけばちり拂へばまたも塵つもる心の塵も庭の落葉も

せ　善惡の人を見る目はありながら我身の上はぬは玉のやみ

い　幾度も思ひ定めて變るらん賴むまじきは我心なり

い　一代の守り本尊たづぬるに我人ともに飯と汁なり

め　飯と汁木綿着物は身を助く其餘は我をせむるのみなり

う　上を見ずかせぐ打出の小槌より萬の寶わき出るなり

よ　善きに着よ惡しきに似るなべて世の人の心は自在かぎなり

き　兄弟が田を分取の爭ひはたわけ者とや人の言ふらん

か　角と云ふ角は心の角を言ふ殊に女は心圓かれ

よ　世の中の人を惡とは思ふなよわれだによくば人もよからん

む　睦まじき夫婦の中は千代八千代子孫さかえて繁昌ぞする

こ　孝といふ守りを常に放さずば如何なる惡魔もよりつかぬなり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

戰時悲劇

召集令（續）

思へば情ない喧嘩國へ生れて來たものだイヤそれも今迄は支那人を相手だ日本人の頭を見せたら千里も先きへ逃げたらう、兵隊には一時賜金も下つたらう勲章も貰へたらう、然し今度はそうは行かぬ考へて見ろ露西亞を相手だぜ、ロシアを……國の廣さが世界の七分の一で人間の頭の數が壹億七千萬、兎ても勝つことは覺束ない、到る處のステーションや港で萬歳萬歳……と送られて居るがあれは皆死んで歸るんだ今度の戰には貴樣も行くだらう、イヤもう近々にお前が行くといふ事或る人から聞いた、サア死んで歸るやうな奴には一文の金子も貸して置かれぬ、百貫の抵當に編笠一介といふ話もある俺はこの鍬を持つて行くぞ」

「アッモシ親方待つて下さい、それは私の品ぢやありません仕事先きの品ですからどうかそれだけは御勘辨を……」

「俺にやそんな事は分らねえ……貴樣が持つて居るから所有品として差し押へる權利があるんだッ」

青年と處女

もつと緊乎して下さい

群馬縣佐波郡波志江一三二〇　細井いつ

▲皆さんは何たる腑甲斐無さです。

▲青年の皆さん方が處女と云ふ事を徹底的に理解してゐないらしい一ト口に處女と云へば意氣地なしと云ふ代名詞となつて輕蔑の氣分がありはすまいか、御覧なさい妾等が大勢青年の居る所を通る際此方から丁寧に禮をしても皆さん方は應ずる禮の眞似さへせられないではありませんか、恐ろしい事には極端な惡口で送らるゝこともしば〳〵です又妾等に對する同情心が乏くはありますまいか御承知でせう「何の奴等が」と頭から押へ付ける調子がアリ〳〵と見えます。

▲皆さんの設けられた「危險物入箱」の側に硝子の毀れや茶碗缺けが山となつて道の邊り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

三、病氣の女房と二人の子供

賴めど聞かぬ高利貸、往來の人は足を止めて見物すれど、誰一人として松岡の辯護をする者もなく、譯わからねども手を引かれたる六ッになる兒が泣き出す最前より後ろに立聞く巡廻巡査おだやかならじと見とめしが人押し分けて中に入り今幸造の鍬を持つて行かうとする高利貸しに

「待てッまてまて今此の人に何を言つて置つたか、もう一度本職の前で言つて見い、髭をひねつて洋服を着てさへ居りや紳士と思ふか、エーッ金子がないから此の品を持つて行つて下さいと賴むのならそれやい丶仕事先きの品と斷つて居るぢやないか持つて行つて見い直ぐに處分してやるから……又、情けない喧嘩國へ生れて來たとは何だ到る處で國家のため大君のために送られて居る出征兵士諸君が死んで歸るとは何か、言語同斷な奴だ一體此の人に催促して居る權利のある金は幾何だッ……アッコラ〱お前達は其處に立つては往來に妨げ、彼方に行つた〱……ナニッ拾圓だ……立つちやいかんといふに……誰だ其の邊で肥え桶かついでくさいぢやないか、彼方へ行つた行つた……拾圓位の金が何か、もし

へ散亂し恰も危險の場所と化してゐます、折角公共的になされた事業です後々の心配迄努力して其實を擧ぐる樣願ひます。又小學校と聯合して運動會を催した時に皆さんは體操だけは除伍凜々しくやられましたが、さあ競爭となると敗ては笑はれると半數の者は何だ彼だと先生に甘言して止めてしまいました、姿はあゝ卑怯だと呆れました、勝負が目的ではありません、體育上「自分の力だけは」と云ふ決心の下に是非實行を望みます。

▲團員は義務で出品する事になつた蔬菜品評會に或支會では碌なものがないとてどうですか、八百屋に用意させて出品したさうです農家の青年としては寒心に堪へません何處迄も自作を出品して「此次には」と云ふ偉大な覺悟が肝心です。

▲近頃團員全部が榛名山へ剛健旅行をされた時に數名の小部落の者は申合せて「用事があるから前橋市迄一と足先に出かける」と甘く團長を僞つて竊に同所迄汽車輸送をされたさうです、けれ共種々の事情で露見し大勢の居

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

松岡幸造が戰地に行つて催促する先きがなけりや俺に請求せい、俺は本村受持ちの金子といふ巡査だ、然し俺に請求して當り前に拂ふ事は出來ない裁判の制裁を仰いで拂ふべき金子であつたら拂つてもやる拂はなくてもよい金ならば一文も拂はぬ何でもいゝから行けッ」

高利貸先生目茶苦茶にやられた

「ヤア松岡君、僕は君に手を合はして拜まれる樣な事をした覺えはない、利のある一方は君のため特に陷れたといふ譯ぢやなし言はゞ高利の金を貸して貧民を苦しめる奴を懲戒したまでだ……然し松岡君、君も困るぢやないか、あゝいふ奴から金を借りた君が惡い、それも生計が苦しいからだ……、松岡君、君も貧乏だろうが僕も貧乏だ世の中に貧程辛いものはないネ……アハ……とんだ愚痴が出た、一度僕の家に遊びに來たまへ僕が酒を一合買はう、而して貧乏人同士で胸襟を開ひて大いに語らうぢやないか、エッナニッ、アヽ是非來て呉れ玉へ待つてるから細君相變らず惡いので困るネ、而して又其の背中の子供はよう瘦せたネ、アヽそう〳〵今ね、親類の內からミルクを二本持つて來て呉れたが子供は居らず僕は嫌い、君の內の妻君乳が出ないといふ事聞いたから君

ろ中で赤恥を晒したとのことです。

▲皆さんは少し奮發して下さい、飽迄も奮つて下さい。妾達もやりませう、出來る限りは內助にも務めませう、皆さんが車を引けば後押しもします、土を擔へばそれも盛りませう、そして其燃え立つやうな血潮を分けて下さい、妾等は手足となつて動けるだけは働きます、眼や耳となつて共に喜憂も致しませうかうして處女會と青年團とは持ちつ持たれつの發展を期さうではありませんか。

娘よ！鍬を持て

靜岡市研屋町三二中野方
望月　滿

▲處女をして野に立たしめよ

▲女とは愛そのものの謂である。彼等の美しき愛が人類の上に及ぶ時わけても男性に及ぶ時偉大なる熱となり力となつて發現する、吾人は高く叫びたい「おゝ、壯大なる母性の力よ！」と、人類は常に完全なる母性をのぞんでゐるのである卽ち、青年會の發達と共に希

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の内へ投げ込んで居いたよ、其の子飲むんだらう、ウムそれや結構ぢや飲ませて呉れ玉へ、今日は是で失敬しやう左様なら」

二三歩前に歩みしが足を止めて金子巡査、歸る松岡の後ろ姿を見つめ思はず落とす熱涙の、吾輩は遠き東國の生れの者、此地に親もなければ親類もなし子供もないのにミルクを呉れる人のあるべき所由なし、今朝巡廻の砌り戸籍役場に立ち寄れば彼れ松岡の召集令狀明日の十一時には病氣の女房に二人の子供、後に殘して戰地に行く、彼れの胸中察するに餘りあり、爲にない金、工面して二本のミルクを贈りしも決して彼にやつたぢやない、是もいさゝか國のため……

四、腰でももんでやろか

知らねば歸る松岡は伏した女房の枕邊に

「おたね、今歸つた、今日も子供が泣きおんだで仕事を半日つぶした、今日は加減は何うだナニッエッウムそれや結構、それぢや、どうだい久しぶり裏へ出て湯でも浴かはんか、だるくば腰でも揉んでやろうか」

「ねえ、貴郞、貴郞はどうして妾をそんなにいぢめますか」

「俺は何もいぢめた覺えはないぞ」

望して止まないのはこの處女の教育ではあるまいか。

▲吾等の郷里に於て鍬を持る處女は殆どない それを眺めて父兄は笑つて言ふのである「世が開けて來ると美しい娘なぞを田圃へ立たせるのは恥しい。」と、故郷の處女よ、君達はこの言葉を憎む勇氣があるだらうか。

▲女性の危機は近づいた、改造は御身等の足許に迫つた、自分は唯簡單に、改造すべき處女會に對する多年の抱負を記して見る。

(第一)處女會員が處女會に集合する時、絕對に綿服を着用して集合することである、處女會は、着物を光らし、顏を塗り包む稽古でないことを自覺せよ、乙女の美は、野原に立つものにのみあるのだ。

(第二)須らく大自然に接する機會を與へしめることである、日本の女の中に天然の美を湛へ喜悦するものが幾人あるか！と言つたとて決して過言ではない。處女をして野に立たしめよ、そこで彼等の虚飾を恥ぢしめよ、生れたまゝの彼等たらしめよ。尠く

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「イヽエいちめるといふものでございませう三年此のかたの長煩ひに自分の夫に勿體ない汚いものヽすヽぎ洗濯までして貰つてなんぼ親兄弟でも愛想をつかすでせう、それに貴郎は妾に一度でも苦い顔を見せた事がありますか？妾は貴郎の罰があたつて病氣はなほりません」

「コレ〳〵そんなつまらぬ事を氣にしてるから病氣が長引く、おたね、人間といふものはナ財産があつて、金があつて、其の日は滿足に暮らしてさへ行けば嬶や兒供のいる譯のものぢやねえ一晩いくらかの道樂あそびに行つて見ろ、餘つ程其方が愉快だ夫婦といふものはそんな淺薄なものぢやない、食へばとも食はざればとも………之が夫婦だ、俺の病氣の時もこういふ風にして貰ひたいと思へばこそならぬ介抱も出來た、そんなつまらぬ事いつちやいかん、今日は誰か來やあしないか」

「お役場からお二人連れで」

「フム何か用があるといつたか。」

「こんなものもつて來ました。」

ト、眺むれば　紛ふ方なき召集令狀、妻は病ひの床に伏し、兒は饑になく賤ケ伏屋の軒端にも召集令は下りけり、轟く胸も咄嗟の間病

もミレエのアンヂエラスが持つ位の魂の悦びを持たしめたならば、鍬を握るとも恥ぢなくなるであらう。人間は所詮、太陽の子供でなければ、眞の幸福はないのだ。あゝ天然の音樂、如何なる詩聖と雖も畫くべからざるこの風景。

（第三）現代の結婚の惡風潮を極力排し、無駄な費用に充つる金は、どうしても使はればならないならば社會改善を目的として寄附金とせよ。

（第四）何等かの趣味を持たしめよ、其が爲には俳句等は大いに推すべきものである、主婦として煩雜な心の暇、臺所の夕暮なぞ詩の悦びに浸りつゝ樂く働らく等どんなに宜いことであらう。

理解あれ節制あれ

山形市外船町　園外渾瀧生

▲處女會の仕事は可成り多い

▲女子は貞淑の徳を第一とすることはいふ迄もありませんよく「弱きもの汝は女なり」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

める女房に心配させまじと

「お種、コレハお前は何にも知らぬ、あゝお上樣といふものは後ろ向きには寢まれぬものだ俺が一昨年筆墨の商ひをして居た時分に税金の不納が六十五錢俺を貧乏と思へばこそ今迄待つて居て下されたのだコレはどうしても納めなくちやなるまい、俺は今から仕事先きに行つてくるから三公置いて行くよ、いゝか大事にして居な、サア元、來い行かうよ、」

五　お母ちやんはいつ死ぬの

六ツになる兒の手を取りて急いで來る組頭の宅、旦那喜んで下さいませ今迄はお村方での厄介者ぢやが明日から軍服身に纏へば誰憚らぬ軍人です死するも生きるも國のためたんだ一つの氣懸りは病氣の女房と二人の子供、貯へとては一文もなく、是が一つの氣懸りぢやお組頭のお情けで温い者とは申ましせん、冷い御飯のお殘りでも苦い漬物の端なりと施しなされて下さいと、賴むに無情の組頭、世話してやりたいがお前一人に世話したら軒別世話せにや相ならぬ、それでは當方が困る、どうなとならうと斷られ、再び賴む勇氣もなく萎れてかへる村はづれ無情の風に散りて行く主の男女は分らねど

などゝいふ樣に全く女は意志が弱いものです感情が烈しくて理性が男子の如くに發達して居りませんですから兎角に誘惑に陷り易く又往々にして自ら誘惑を求むるの擧に出づることがあるものです又女子は一般に本來華美を好みます浮華輕佻の心が其の奥底に偉大なる潜勢力を以て伏在して居ります此の二性質が適當に陶冶せられて居れば一面又女子の美點をなすものであつて我々青年男子に對しても好刺戟たるは勿論ですが若し之を陶冶せられず又理性の拘束を受けないものであつたなら實に危險なものではありませんか處女會は大いに此の方面に注意すべきであり又之を陶冶善導するに最も適當なる機關であらうと思ひます。

▲私は髮も着物も不潔の儘一向頓着せぬ不精な女は勿論、相當注意して居るらしくても趣味の低劣な配合も何もない赤や青の色彩を矢鱈に用ひた樣な服裝を見るに耐へないと同時に見てくれがしに紛し立て華美な衣裳を纏つて居る女も見るに耐へません處女會にして一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

今葬式の出る處、數多の人足集りて各自にムスビを喰つて居る、大人は更に氣づかねど連れた吾が子が早くも見つけ父の取る手をふりはなし、飛んで行きたる人足の前指を加へてほしそうに小父さんムスビは美味いかい、聞いて吃驚り松岡が子供といふものは喰べても〱いやしいもの此方に來いよと、吾子の頭、平手で打ちたゝき、手の披ける程引張つて、人の見えない蔭に來て叩いた頭なでさすり引いた其の手を揉みながらお前は子供で無理はない聞いて幼子喜んで父の頭見て笑顔を造り舌のまわらぬ言葉にてチャンよ、内の母アさん何日死ぬか母アさん死んだら白いおまんま喰べられる、聞いて驚く幸造がもしや歸りて眞實なら如何なる不幸の辻占ぞと急いで歸る吾家の、

「おたねッ今歸つて來たア、人間といふものは貧乏したくないものだ、六十五錢のやりくりで今迄かゝつた、暗つたらう今燈火をつけてやるよ、」

といひながら二分心洋燈に燈火をつける

「おたね、おたねッ、おたねッアッしまつた……」

「チャン母アちやん死んでるよ」

「おたねよう死んで呉れた、お前は此のきれない鮪庖丁で自害をし

般に質實優美になつたら青年團の浮華な傾向をも阻止調節する事が出來ませう。

▲私がいたづら盛りの少年時代に今の處女會は女子校友會といつて居ました其の時分大會の餘興に活人畫が出て居るのを私は會場外から隙見したことがありましたそして女の子は子守迄會場内に入れて見せて居るのに何故男の子には隙見もさせまいとするのだらうと幼な心に思ひました又三四年前までは互に顏を知つて居る村内の青年男女が舊思想に捉はれて途に遇ひながら互に顏をそむけて通り過ぎる樣な殺風景な滑稽もありました然し今では青年團と處女會とが提携して共同事業をやる樣になり夫が爲め途上でも暖かに禮を交換する樣になりました私は大いに互助親愛の優美な溫かい風俗をなした事を喜んで居ります。

▲然し此の双方の近接交歡は果して眞に堅實なる双方の理解と節制とを基礎として成つて居るものでせうか私は之が疑問でなりません若し之が淺い表面の現象で深い堅い根抵がなかつたらどうでせう私は將來何等かの顯れざ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て呉れたか、さぞ辛らかつたであらう、別段殘り多いとも殘念とも思はないが三年の間口當りよいものを一度も喰べさせずに殺したので殘念だ何事も俺のやうな甲斐性のない亭主に連れ添ふたが因果とあきらめて呉れ、おたね、お前の遺書は今見るぞ」

六　涙のかきをき

溢れる涙瀧津瀬の、悲しみながら書き遺します、三年このかたの長煩ひ、一日のやうな御看病、御勿體ない吾が夫樣、今朝村役場から持つて來た召集令狀、容子は知つて居りましたが、知らぬふりして尋ねれば、またも妾をかばう心、外の事とは違ひます、退引ならぬお上の御用です、病氣の女房二人の子供、後に殘して貴郎が一人で戰地に行き、後に心を引かされて何んでお手柄出來ませう、貴郎にお手柄させたいため妾はお先きに自害を致します、不憫ではあるけれども貴郎は二人の子供を刺し殺し、それを軍の血祭りに、讐と目指すはロシアの兵、生きて凱旋なさらぬやう、名譽の戰死遊ばすやう草場の蔭から祈ります、貴郎のお越しの先きの世で親子四人が落ち合つて三途の川の深いのも、死出の山路の高いのも共に共にの此の遺書――」

る惡弊を生ぜんことをおそれるものでありますす青年團に於ても此の點に留意はして居る樣ですがともすればより浮立ち易い性質を有する處女會の方が一層茲に重大なる意義があるではありますまいか。

嚴肅な空氣を

府下南千住町第三瑞光小學校々宅
高橋はま

◎解放に對する私どもの考◎

▲未だ自分の方の組織も出來ないのに嗚呼の沙汰と思召すかも知れませんが私共の希望か感想かの一二を述べさせて下さいませ此頃識者の間には青年と處女との提携を唱道される樣になりました固よりさうなければならない筈で御座いますが只今の私共の町村で私共の解放を肯定する父兄が幾人ありませう?――それは時勢の推移から取り殘された舊式の道德論の僻見で鞍騷立する必要はないとして――私自身さへ解放しても絕對間違ひ無いと斷言し得る勇氣は御座いません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女房出かした出かしやつた、躊躇はならぬ是見よと、吾子をひんだき鮪庖丁逆手に取り、胸板目がけて只一刺し、刺さんとなせし其のセッナ表の雨戸開く間おそしと蹴破りて飛び込み來つた金子巡査松岡の利腕押へて兇器を奪ひ取り

「まあ〳〵待ち玉へ松岡君、死んだ女房は仕方がない二人の子供刺し殺し君が一人で戰地に行きそれを忠義と思ふたか、それは不忠だ大それたそれ程後が氣になれば萬事は僕が引き受けた……」

話の折柄又もや門の戸を開けては入り來つた高利貸し、上り端にと兩の手つき

「許して下され警察官、こらへてお吳れ松岡殿、あれから宅へ歸つたら悴が廣島高等師範學校から歸つた所、壓制な巡査もあるものと話をしたら又も吾子に意見され、初めて夢が覺めました、殘る子供の養育は、及ばずながら私が引き受けましたから」

意外の言葉に聞いて喜ぶ金子巡査、よく出來ました金貸君、人の性こそ善なるものよ。

七　白木の位牌

それから直に葬儀の準備にかゝる、夫のためは國のため我から散

▲私共は解放を叫びます青年處女の提携を歡迎致します然しまれには只今の私共の町村の青年處女にはなほ多少の訓練を要しはしますまいか。

▲女は自主的精神に缺けてゐます動もすると決斷が鈍りますからうした弱い處に乘じて圖りすまさうとせらるゝ方がありますならばそれは青年の風上に置けぬ不德漢と申されはなりますまい。萬一斯樣な心得違ひの人が有りましたら團の中に生存を許さないやうな嚴肅な空氣を横溢さして頂き度いと思ひます。

▲卷煙草をおふかしになる方の多くなつたこと、それも法律が未だ許して居らぬと思はれる方に少くない樣ですもう一つは御酒でございます高いのによく賣れるさうでは有りませんか。

▲御召物や携帯品や女物といつた樣なお好みの傾向が見えはせぬでせうか趣味好尙の變遷だと申せばそれ迄ですが何となく淺ましう存じます。

▲私共は底力と多少の圓みとを持つた人柄を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

りにわくらはの佛に通夜の眞似事の、明くれば早くも出棺の村人涙で見送りの葬儀の折り柄向ふより出征兵士の面々が萬々歳に送られて意氣揚々と出で來る、やア松岡君、君は妻君の葬式も送らぢやなるまいけど君は僕等と一緒の入營、こゝで一汽車おくれたら先きで二時間待たねばならぬ、それでは入營時間の間に合はぬ、コッチに來いよと引き込まれ、健氣な女房の死別を横に急いで來るステーション、汽車に乘つたり時間が來る、車掌が發車を吹く笛に今正さに進行せんとする間一髮、職務忘れて金子巡査、官服纒ふた其のまんま六つになる子を背に負ひ、三つになる兒を横抱きにブラットホームに飛んで來て

「ヤア松岡君出征か、君が首途の見送りは不肖巡査もして居るぞ、君の子息はこれ背に、弟の子息もこれこゝに、是を見玉へ松岡君、未だ三つの頑是なさ、君の首途を祝ふてか、ニコ／＼笑ふて見て居るぞ、君の女房はこれこゝにとカクシの中より取り出す白木の位牌見てあれば、釋妙鏡信女松岡たねとしるしあり、語るも聞くも涙のたね、召集令の一節。

またなく頼もしいものに存じます。内に高潔の精神と燃ゆる血潮とが有りますならば少し位な粗野な點は青年の方には別してとがめ立する程のこともありますまい。

▲處女會の方も間もなく組織が出來ようと存じます。さうして青年會と處女會とは影の形に添ふ樣にして行きたいと存じます。

□青年會の化の皮

以上のせましたのは、國民新聞で募集してゐます「青年より處女會へ」「處女より青年團へ」の中の有益な當選文であります。青年會と處女會と打ちとけた注文をし合つたのですが、みなそれ／＼の注文や希望があつて面白くありますがどちらかと言へば、處女の方が勝利でした。力強いことです。それに、大分青年會の化の皮があらはれた地方が少くありません。「夜學の歸りに夜あそびするのをよして下さい」なんといふのが澤山ありました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文（田舍の友へ／町の友へ／工場の友へ）

和歌（題隨意一人三首）

俳句（題隨意一人三句）

考へ物（下の題を見よ）

習字（半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞

田園生活の感想

有利なる副業内職

地方篤志婦人の事蹟

田舍より見たる都會

第三種

處女倶樂部（はがき一人一通）

衛生問答（一人一問）

處世問答（一人一問）

外遊の國府理事消息

○シンガポールより

御寒さきびしきことゝ存じ候。當地は暑きこと夏の末秋の初の如くに候。薄き夏服にて身に適する位に候。東京の新聞をみる能はず何事も不分明也。

暑き日を南の海におくる夜の
夢は涼しき濤音に入る

一月十四日

○マレー半島より

旅には馴れぬ、毎朝の髭そりも上手になりぬ。洗濯物の始末にも困らずなりぬ。きのふシンガポールへ歐洲より歸航の熱田丸入り來りぬ。翁は陸に去りて在らざりしも鈴木馬左也さん居られたり。其の室を訪れて三十分ばかり話した。

日は暑く風は涼しき海を行く
今日都にや雪の花散る

一月十六日

北野丸扇風機の下にて

三月號考へ物の答

「つよくやさしくまじめにはたらく女」と組むのが正しいのであります。間違つた答はあまりありませんでした、やはりくじびきで左の方々が當籤せられました。

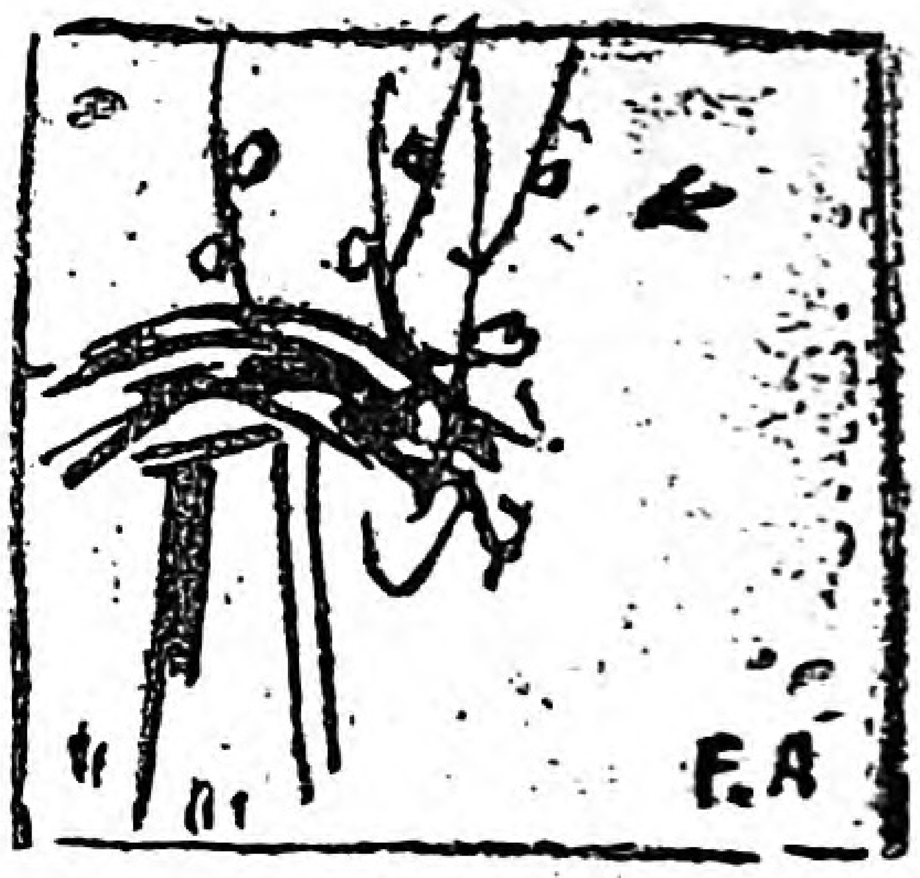
○高木つや子（滋賀縣蒲生郡市邊村）
○藤井まつ子（滋賀縣蒲生郡老蘇村内野
○影島よれ子（靜岡縣小山紡績工場七二號
○森　千代子（群馬縣新田郡鳥之郷村鳥山
○佐藤いま子（長野縣平野村[illegible]製糸場内
○小川　君子（埼玉縣入間郡鶴ヶ島村高倉
○白木その子（東京市本所區太平町一ノ一一九
○田村ツイ子（新潟縣刈羽郡北條村廣田
○草薙てつ子（東京市本所區押上町押上工場
○齋藤ミエ子（福島縣大沼郡藤川村
○小池ふさ子（岐阜縣武儀郡坂ノ東村村若
○木佐ミサヲ（島根縣簸川郡灘分村
○荒木ミサチ（北海道空知郡三笠山幌内
○富山まさゑ（和歌山縣有田郡栖川村
○後藤かれい（福島縣猪苗代磐瀬村長坂

考へ物新題

十四を三つに分けると女に大事な品となる。何でせうか考へて下さい。

〆切四月十二日（はがきにて）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



都にあこがれて（其七）

白雲生作

□ 死んでもいゝわ

夜中ねむるまいと抱き合つて語り合つてゐる中、二人とも疲れが出たと見えてねむつてしまひました。ザアザアといふ雨しぶきの音に、お房がめをさました。

『おゝ暴風！こわいこと。』

とひとりごといひながら夜具に顔をうづめました。みると君子は何も知らずすや／＼とねむつてゐます。母親に抱かれる子供のやうに、心地かがんで、小さくなつてお房の方によりかゝつてゐます。そのあどけない顔、けふのあらしのやうな恐ろしい運命が前に迫つてゐるとも知らずに、何の夢をみてゐるでせうと思ふと、お房は年上だけに、自分のことも忘れて、あはれみの心が湧き起り、思はずまた熱いものゝ頰を流れるのをとめることが出來ませんでした。

『あゝ早く、早く、たすけて、あゝ――』

『おゝ君子さん、うなされて？、君子さん、夢みたのわたし、房子よ。』

お君は目をひらき、ほつとしましたやうでした。

『今ね、わたしまたこの間のやうに、ひどい目に會つたところを夢にみましたの、おゝこわかつた』

心のなやみに身體の疲れで、お君はめつきり痩せ衰へて、時々咳さへ致します。都にあこがれ出たのは到らぬからだとは言へ、かうしたあどけない娘がまの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あたりかうした苦勞をかさね、これからまたどうなることかと思ひますとお房には、お君がわが妹でもあるかのやうにいぢらしく思はれ、殊にあの惡ものゝ家を遁げるとき、お君が自分を庇つてくれたことなど思ひ浮べますと、お房はどうしてもお君のほんとうの味方とならねばならぬと心の緒をしめました。

『君子さん、わたしあなたがゐらつしやるから心丈夫よ』

と一つになれよとばかり、抱きしめますと、君子は

『姉さんわたしこそよ』

お君の左の目から出た涙が頰を傳つて、お房の唇に流れます。

『房子さんわたしもう死んでもかまはないわ、もうどうせ助からないんですもの、けれどお父さんやお母さんや妹のことを思ひますと、わたしどうしても一度家へ歸つておわびしたいのです、けれどかうしてみればもうのぞみもありませんわね』

心丈夫にといつたが、さてお房にも固よりよい考へがあるわけではない。

この時お房の頭に、稻妻のやうに閃めいたものがあります、お房の目は輝きました。

□　神樣へお祈り

『お君さんあなたにお願ひがありますの』

お君は目をつぶつたまゝ

『お姉さん何なの』

『あのね、わたしと一所に死んで下さらないの、』

といつたときに、流石にお君の顏は變りましたが、すぐと

『お君さん、一所に死ぬつても、此所ぢやなくつてよあの此所を遁げるのよ、今夜――』

お君はおどろきながら

『お姉さんそりやほんと』

『わたしね、あなたが決心して下さればさうしたいの、けふは丁度暴風雨でせう、家の人は油斷をしてゐるでせう、きつとにげられますわ、それにわたし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

心覺えがあるのよ、少しゆきますと、向ふに交番がありますもの……けれど若しつかまりますと申し譯がないわねえ、やつぱりよしませうか』

ヂッと聞いてゐたお君は

『姉さん、わたし伴れていつて、大丈夫よ、こんどこそ大丈夫よ、わたし神様にお願ひするわ』

と、床の中で目をつぶつて、手を合せて拜んでゐます目のまわりは赤くなつて、涙のあとが黒いやうににじんでゐます、其のいたましい顔をお房は永くみてゐられませんで

『わたしもお願ひ致しませう』

暴風雨は小やみになつて來ました。けれど樹の枝と枝と打ち合ふ音が物凄いやうに聞えます、夜更けか、夜明か、うすら明るくなつた所をみると、もう夜明けのやうでもあります。

『姉さんこんどこそ一所よ、きつとねえ、捉つたら一所よ』

□三つの命

深い決心の二人はそつと夜具からぬけ出て、支度にとりかゝりました。他の女たちは、おもひ〳〵のさまをして寢てゐますが、お房は

『ね君子さん、里子さんだけに申しませうか、あとで心配しますもの』

『えゝ』

と低聲に答へてそつと枕許に近よりますと、虫の知らせか、里子はパッチリと目をあきましたので、二人ば決心してぬけ出る覺悟のほどを告げますと、

『ぢやわたしも一所に―うれしい』

かうして三人は同じ思ひに心をきめましたが、尚ザッとその理由を紙きれにかいて、ほかの女たちの枕許にかき置きをしました。

神佛への祈願の爲か、あらしも小歇みになりまして少しあかるくさへなつて來ました。

『さあ早く、今の中に』

二階の雨戸をそつとあけますと、戸溝に水が溜つてゐますので音もなくあきましたが、流石におそろしいや

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

うな氣も致します。お房は先づ柱につかまつて家根づたひに足場をつくりながら塀の方へ下りてゆきます。丁度大い庭木がありますので、塀の所からその樹に倚りかゝつて滑り落ちました。

お君もお里も同じやうにして首尾よく下に下りまして三人手をとり合つた時には、三つの魂は躍り返りました。それからは塀の開き戸をひらいて、かゞんで出ますと、もうほんとうに往來です、三人は吻としましたが、是からが大事と心を落ちつけはだしのまゝで雨の中を突いて上野公園の木立を目あてに驅けり、かねて心覺のしてある交番へと急ぎました。

あたりはシンとして街燈が所々にボンヤリとともつてゐます、お房は何氣なく後ふり返りました。闇の中を誰か追つかけて來るやうに思はれてなりません。お里もふるへながらふり返りました。

『あ、あすこよ、ね、あかりが見えるでせう』

お房は急に元氣づいて、交番へと急がせ、やがてその前へ來ますと、もう嬉しさに飛び立つやうでした。

『もし〳〵、もし〳〵』

ガラス戸をたゝきますと、ねむいやうな目をして机によりかゝつてゐました巡査が、ハツと此方をみました。髮の毛をみだした若い女が三人、ビショぬれになつて表に立つてゐるので、巡査もおどろきましたが、

『あなた方はまあどうした』

八十八歳の高齢で 遙々英國倫敦まで

矢島揖子女史が出發した

來る四月十八日から二十四日まで英京倫敦に於て開催される萬國同盟基督教婦人矯風會に日本婦人矯風會を代表して出席する事となつた矯風會々頭矢島揖子老女史は三月十三日横濱出帆のコレア丸に便乘し渡英しました老女史は實に今年八十八歳の老體にも係はらず元氣壯者を凌ぐ程で世界の晴の舞臺に使命を辱しめまいと意氣込んで居るが老女史を送る全國七十七ヶ所の支部及會員一同は老女史が四月二十四日の米壽の賀を祝福する爲めに支部を八十八ヶ所に増設すべく奮闘すると共に祝賀の金を贈る事とし老人子供及び一般會員以外の有志から八錢八厘、八十八錢、八十八圓等凡て八十八に因める金圓を醵金中であるが老女史の出發は急を要する事とて米壽の賀を中止し醵金は凡て女史の旅費に加へて餞別したといふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

亂れ咲き

誌友信

誌友をはじめ處女會員、女教員、會長さんなどからいろ／＼のおたよりをいたゞきます。處女會の苦心談や、工場の生活や、地方〻風俗などとり／＼に特色があること、春の野にみだれ咲く七草のよう。順序もなく、早く咲いた順にかゝげます。

○處女の處女會に對する理想

余一日、處女會役員會の席上本處女會の今後十年計劃に對する理想案　自由發展をなさしめ左記の如きものを得たりき。

會食の機會を作りたいこと、
名士の講演を聽きたいこと、
優良處女會を視察をしたいこと、
遠足を試みたいこと、
音樂堂を建てたいこと、
各種の樂器を備付けたいこと、
處女會の紀念樹を植ゑること、
總會を數次開くこと、
花茶を稽古すること、
處女文庫を設置すること、
蠶業の共同實習をなしその利益を慈善事業に寄附すること、

（滋賀縣蒲生郡老蘇小學校　北條　宗吉報）

○岐阜縣可兒郡今渡町處女會員日常心得數へ歌

（奥村會長報）

一つとや　人々常に麥飯を／＼
たべるが皇國の御奉公／＼　（節米）
二つとや　父母の大恩夢にだに／＼
忘れずつくせ孝行を／＼　（孝行）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

三つとや　身なり質素に心をば〳〵
　　飾る人こそ貴とけれ〳〵（質素）
四つとや　預金を常々心せよ〳〵
　　ちりもつもれば山となる〳〵（貯金）
五つとや　今は平和の經濟戰〳〵
　　人々勵めよ職業に〳〵（職業）
六つとや　無理な慾望する勿れ〳〵
　　まことは人之道なるぞ〳〵（誠實）
七つとや　慈悲深いは女子の德〳〵
　　虫けらまでもいたわれよ〳〵（慈悲）
八つとや　病は口より入るといふ〳〵
　　兎角つゝしめ飲食を〳〵（衛生）
九つとや　心は常にひろやかで〳〵
　　家庭のゑんまんはかるべし〳〵（寛容）
十とや　富はくる〳〵まふ車〳〵
　　辛捧する身にまわり來る〳〵（忍耐）

○野の乙女の爲に

長野縣南高來町東有家村　本多そよ子

（前略）私は昨年四月學校を終へまして、母校に俸職する身となりましたので、村の少女たちの讀物をいろ〳〵探しましたが、御存知の通り今世の中にある多くの雜誌は都會の少女しかもお孃樣向きで、徒らに虚榮心をそゝり、都のあこがれ心をそゝるのみで、この田舍に鍬とる少女とはあまりかけはなれてゐるのでございます。それ故に野の乙女の讀物に大變迷ふてゐました所一月愛讀書女子敎育研究の一端で御誌のあることを存じ、早速御送附を願ひまして、八月號より引つゞき愛讀致して居ります。みな眞面目に讀んで居ります。只今では四十餘人が巡々に讀み廻つて居ります。何卒廣く帝國處女の爲に益御指導のほどお願ひ致します。（下略）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○天にも上る心地

京都府加佐郡河東村字平原　荒木ちゑ

私は丹後の元伊勢近くにさゝやかながらもその日〳〵を樂しく暮らしてゐます。ことし二十歳となりましたがまだ氣分は小供の樣でございます。私は幼き頃より本をよむのが大好きで、色々本もよみましたが『處女の友』は夢にもみたことがございませんでした。所が今度母校にて、はからずも『處女の友』が目につきました。嗚呼その時の私の喜びはとても拙なき筆にはかきつくせません。何も捨てゝ、取る手おそしと拜見しますと、皆△私の氣に入つた理想▽の讀物でした。一枚〳〵よみゆく中に、いつか天にも上る心地がしました。本當に先生方のどこまでも親切に處女の爲を思ふて下さることを、私は心から感謝致して居ります。

信州名所善光寺

長野　上田花子寄

○工場の友へ

松江　米田都留子

おなつかしきしづ樣

ビユー〳〵身をきる樣な北風にあまつさへ小雪まじりの物淋しい夕暮でした。今事務を終へて局を出たばかりの私は思はず『オー寒い』とさけびました。かゝる夜は一入あなたがなつかしい、早くかへつて御手紙でも差上げたいようです。今頃どうしてゐらつしやるのでせう、さだめし仕事もすんで今頃工場の寄宿舍で、たのしい處

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

女の友をおよみでせうね。
しづさま、

お互に動く身。 たとへ

あなたと私とは仕事はちがふとも、やはり仕事に貴賤はありませんわ、あなたがよく物事を理解遊ばして、母様の爲中途學校をお止し遊ばしお仕事に御熱心なること、私はどんなに嬉しいか知れません。まして母様はどんなにお喜びでせう。

しづ様今かへる道すがら淋しい夕暮を悳念に歩みをつゞけてゐますとふと、あの二の丸へんでかすかに淋しい少女のすゝりなきの聲がします。近くまでいつて見ますとそれはほんとにあはれな一少女でした。十二三歳位ともおぼしく、足袋も手袋もつけず、辨當をもつて泣きながら、すご〳〵として私のそばを、とほり過ぎ行きました。

あのあはれなる少女も一日の仕事をおへてかへるのか、なぜ泣くのやら、あの沈默が私には一入あはれで今にも聲をかけたくおもひました。

しづ様あなたはあの少女をどうお感じになりますでせう、自分の身を處して行く爲にはたらく、何と云ふ尊い事でせうね。

あゝ此のかへる道すがら私はしんに生の尊さを身にかんじました。ほんとに人間は動くことによつて生きるのですものね、お互様にはたらきませう、ではさむさのみぎり御身御大切になさいませ。

○盲目の母

福島縣若松市　笹山　せき

私は昨年の十二月からの愛讀者でございます、盲の母の爲に處女の友をよんでは喜ばせて居ります、都にあこがれてのお房さんに同情して母と涙を流して居ります、皆様どうぞ御交際のほどを。記者様御身御大切に。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『處女の友』誌友名簿（三）

兵庫縣多紀郡大芋村處女會會長　井口清藏
同　同　同　稲井支部長　深田芳子
同　同　同　中支部長　矢野みつゑ
同　同　同　小原支部長　桑形かつゑ
同　同　同　藤坂支部長　長尾こはな
同　同　同　小倉支部長　山田まきゑ
同　同　同　市野々支部長　原田こすみ
同　同　同　三熊支部長　仲井芳枝
同　同　同　立金支部長　相山操
同　同　同　大藤支部長　堀内こたま
同　同　同　奥山支部長　野々口きぬゑ
同　同　同　宮代支部長　眞繼こはる
福島縣大沼郡藤川村處女會會長　佐治敬治
同　同　同　藤田　安部ヤス
同　同　同　豆田　本田タケノ
同　同　同　上中川　眞部スミ
同　同　同　橋爪　吉原ウラノ
同　同　同　富岡　長尾コウ
同　同　同　田中　長峯イサノ
同　同　同　長峯　長峯ミサヲ
同　同　同　西勝　根本マサ
同　同　同　竹原　上野イセ
同　同　同　西勝　十二所イノ
同　同　藤川村　横山クニノ
同　同　同　横山セツ
同　同　同　横山ミサヲ
同　同　同　上野ミワ
同　同　同　一キミ

同　同　同　兒島エイ
同　同　同　丸山ハルノ
同　同　同　長峯キン
同　同　同　横山クニ
同　同　同　勝原　大竹タケオ
同　同　同　新堀　平山イソノ
同　同　赤澤村雀林　小林イワ
同　同　同　若林　小林カク
同　同　横田村横田　渡部テルヨ
同　同　大瀧村大鹽　三瓶靜江
同　同　原谷村瀧谷　目黒濤子
同　雙葉郡浪江町平陽裁縫女學校
同　同　同　同　井上くら
同　同　同　同　前田ふみ
同　同　同　同　山田くに
同　同　同　同　廣田ひで
同　同　同　同　新莊たかい
同　同　同　同　小林あきら
同　同　同　同　泉いち
同　同　同　同　吉田かつよ
同　同　同　同　佐藤みつよ
同　同　同　同　梅村なつ
同　同　同　同　安部はつ
同　同　同　同　松本いち
同　同　同　同　古内ヨシ
同　同　同　同　西内しよ
岐阜縣大野郡高山町斐太製絲株式會社　中尾ヨサ

同　同　同　同　野田綾子
滋賀縣蒲生郡老蘇村内野　横川まつ子
同　同　同　同　藤井まつ
同　同　同　坪田はる
長野縣諏訪郡平野村仐製絲出　長尾まつゑ
同　同　同　同　佐藤いま
靜岡縣小山町小山第二工場九十一號　藤原つる
同　同　同　同七十二號　影山よれ
東京市本所區太平町一ノ一一九　白木その
同　同　押上町二八三　高橋キクミ
新潟縣刈羽郡北條村廣田　田村ツイ
北海道石狩國空知郡三笠山村　荒木ミサチ
和歌山縣有田郡栖川村栖原　境しず
同　同　同　吉川　富上まさゑ
島根縣簸川郡灘分村處女會長　長岡豐樹
同　同　同　會員　木佐ミサホ
同　同　同　同　内田ヨシ
同　同　同　同　山根フサノ
同　同　同　同　多久和ツエ
同　同　同　同　久家軍野
同　同　同　同　士佐富子
同　同　同　同　多久和菊野
同　同　同　同　常松サワノ
同　同　同　同　湯淺ユキ
神奈川縣保土ヶ谷町紡績工場六七　西さつき
福島縣信夫郡荒井村田狢　阿部きく
熊本縣阿蘇郡黒川村坊中　齋藤ひさ
鹿兒島縣出水郡東長島村片側　磯部照子
靜岡縣小笠郡原谷村細谷　松井きく

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきをもつて御來會下さい。長いお話は御免下さい後れた方は次の月

○私は山村の片田舍にて御誌を無二の友として居ります、いつも〳〵有益な記事のみのせて下すつてありがたうございます。あらゆる雜誌の中で「處女の友」ほど私等田舍娘の身方となつて下さるものはありません。私は只今二月號を以て有益によみ終りました。父母なき此の身姉妹なき身には實に御誌によつてどれほどなぐさめられるかわかりません。(和歌山縣伊都郡隅田村石井えい)○おほめに預り恭う存じます(記者)

○この淋しい湖南の山里にも春の氣分がたゞよふ頃となりました。里に山に出て働くひま〳〵に有益な御誌を無二の友として樂しい床しい日を暮らして居ります。皆さまよろしく御交際を(滋賀中川さら)

○私は瀨戸内海の海近くに住む農家の娘で本誌を愛讀してゐる者です。記者樣どうか御導き下さい(香川縣三豐郡大野原大山靜江)

○福島縣猪苗代の土沼たまよ樣まああなたも愛讀者なのネ今月の誌友名簿にのつてゐらつしつたり私高一の荒川よ相變らずネ、それから若松の根元さんレター頂戴ナ(猪苗代町荒川)

○この度當地にて處女會の發會式を營むことになりました。會員は隨分あることと思ひます。私は處女の友をとつてから一年余りになります。初の中は何の事やらわかりませんでしたが、この節はほんとうに仲よくなりました。處女の友と親しい交をするようになりましてから、友達がどんなによい着物を着やうとも、どんな身なりをしようともその方へ氣をとられません。農業をするときには早く歸つて處女の友をみようと思ひますので、少しも農事が嫌と思ひません。(千葉縣印旛郡富里村篠原きみ)○是でこそ本誌の使命が達せられます(記者)

○私は十九歳になります、處女會長をしてゐます。會員が三十名ばかりあります。御誌の御精神ほんとうに心強くあります。(定秀子)

○私は昨年の十月號よりの愛讀者でございます。私の村でも處女會が開かれて居りますよ、明治四十四年からでありますが、本年は十年目に相當致します。一年に六回開會、作り方や料理や精神修養など致して居ります。會員は毎會六七十人から八十人位の出席がございます。基本財產も出來ました。私は夕げをすませて處女の友を手にする時が一番うれしうムいます。(土江富子)時々樣子を知らせて下さい(記者)

○中央部の先生たちのお骨折りで地方の私共まで善導して下さるのがこの上もなくうれしうございます。願はくは天野先生の各地方の御巡廻がお願ひ致したうございます。(岐阜島田やよひ)○天野理事も是非とも各地方を巡廻して皆樣にお目にかゝりたいと仰言います(記者)

○私は尋常小學を卒業させていたゞきまして、生みのお母さんは十歳の時なくなりました。まゝ母樣私の妹弟もあります。夫樣はよく私を愛して下さいます。(年は二十三歳です)私は去年の春にかたづき赤ちやんがあればよいと思ひます。小さい子供さんによい教育とはこれからの事、まだ〳〵けわしい坂道と思ひます。妹さんは十九歳弟さんは二人(十六、七歳)です。この處女の友と親しみましてからたのしい月日が送れます(香川縣三豐郡町田村小藪たきゑ)

なんとお心掛のよいそして仕合せなあなたでせう(記者)

○海山遠くへだてゝ工場に働く私はほんとうに淋しくあります。けれど今は淸き神樣の下に感謝して働いてゐます。私の母は私の七歳の時歸らぬ旅に上りました。兄や姉はありますけれど皆義理の兄弟です。眞の兄弟としては一人もありません。私は富士瓦斯紡績の小山工場に働いて居ります。入社以來一年半の月日を空しく暮らして居ります。私は「處女の友」が何よりの同情の本です。都にあこがれてゐるお房さんほんとうにお氣の毒です。(寄宿舍山口愛子)○工女即ち孝女、あなたのお身の上に仕合せの増します樣に祈ります(記者)

○田舍もどうやら春めいて谷間の梅もほころびかけました、山の彼方へ鶯も訪れます。川邊の柳も芽を吹き掛けました。私共の働きます季節も巡り來ました。天候晴雨に拘はらず山に田に野良に活動いたします。昨年十二月佐波郡八坂村の方へ參りました。相變らず御本はやめます氣になれませんので又御小遣でも儉約してさい又々親樣に御願ひ申して來る三月號より引續き讀まして戴きますげに爲になる眞面目な本だといつて父母上樣も御聞き下さいます。(山口縣桑原藤代)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○編輯だより

○三月號は大變後れてすみませんおわび致します。是から早く發行することにします。矢島楫子女史は八十八歳の高齢を以てこんど外國に渡航なさいました。この勇氣に對し若い娘は一大發奮をせねばなりません。

○新潟の近藤様御便りありがたうムいます。愛媛の河内様からも長い／＼お苦心のお手紙いたゞきました。地方の有志者が御骨折り被下ることを心からうれしく思ひます。

○四月三日に天野理事は栃木縣河内郡瑞穂村婦人會に參られます。近縣でしたならば（なるべく日曜日に）出演されますので遠慮なく御申込下さい。

○天野理事の「地方の婦人」が神田南神保町二、日新閣から發行になりました。地方婦女の爲に日本一とも言はれるべきよい書物であります（一圓五十錢税八錢）

○處女會の歌は本號第十、十一頁に掲載の通り有名なる葛原𦱳先生の作歌、小松玉巖先生の作曲で、立派に出來ました。どうぞ盛に歌つて、野の幸をお樂しみ下さい。

○誌友くらぶはなか／＼賑やかになりました。なるべく短くかいてよこして下さい。和歌も俳句も募ります。皆さんのお寫眞があればいたゞきたい。順に掲げます。

○地方の婦女會處女會だよりも歡迎致します。どうか送つて下さい。

○國府理事はロンドンに安着せられ方々視察なされて居ります。ときぐ／＼おたよりを下さいます。

處女の友改正定價表

每月一回一日發行

定價	定價	郵税	合計
一部	拾八錢	五厘	拾八錢五厘
半年分	壹圓八錢	不要	壹圓八錢
一年分	貳圓	不要	貳圓

廣告料	特別面	普通面
一頁	貳拾五圓	拾五圓
半頁	／	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割增のこと◎外國行は郵税實費を申受く

大正九年三月二十八日印刷納本
大正九年四月一日發行

發行人印刷人 東京市本郷區元町二ノ六六 田所楠猪
編輯人 天野藤男
東京市麹町區紀尾井町三番地 處女會中央部
印刷所 東京市京橋區月町十二、三番地 千代田印刷株式會社

東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
電話小石川三一七四番
振替東京六一九〇番

大賣捌 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ

青年圖書

大久保洲四著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁 定價四拾錢 ＝送料四錢＝

青年團員手牒

青年團員必携の信用狀▲總クロース和紙堅牢無比▲青年團中央部編纂
定價拾錢＝送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲＝▲青年團中央部選▲島崎東京音樂學校教授作曲
定價五錢＝送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易 陸軍戸山學校選青年團中央部編纂
定價五錢＝送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田穆新著 平明懇切總振假名付袖珍形頗美本
定價六拾五錢＝送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書▲青年團中央部編纂▲菊判三百八十有餘頁
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著 青年の娛樂用課外讀本として好適
定價七拾五錢＝送料六錢

地方青年の教養

內務省監察官守屋榮夫先生著▲青年團員教養に關する新研究の發表
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶、指導者の研究舞臺 修養、研究、向上娛樂の資料、各團體の連絡機關
定價一部金十五錢郵稅一錢、半年分前金九十錢一ケ年分前金一圓七十錢

東京市麹町區永田町一丁目 **帝國青年發行所** 振替口座東京二一一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

内務書記官田子一民先生著（最新刊）

米國に於けるアルコール戰

◈定價金参拾錢　送料四錢

世界の驚異たる全米國の禁酒法案通過は現代に於ける最も注目すべき社會運動たり。著者曩に歐米を巡遊し、親しく米國に於ける禁酒運動の由來と其沿革を究め、感慨禁ずる能はざるものあり、歸來自ら多年の嗜好たりし飲酒を斷ち敢て此一書を提供して同胞の反省に資せんとす、請ふ一讀あれ。

愛知縣立農林學校長　山崎延吉先生著

五版

婦人の覺醒

■定價二十五錢　■送料二錢

本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺に資し、其の向上に後援せんが爲め、著者が滿腔の同情を以て著はされたる者なり。

創刊十五年記念號

斯民

四月號 ■ 一部三十錢

■歐洲經濟界の現狀……井上公二
■富山縣營の水力電氣事業……東園知事
■地方改造の三信條……鹿子木知事
■民政史の回顧……岩田衛

回顧と希望（一木博士、桑田博士、岡田良平、早川千吉郎、中川望、留岡幸助、生江孝之、白石正邦、相田良雄）

■名村長井上萬吉翁逸話……武井郡長
■補習學校の自治團……石本堅
■時事論評 ■民育雜話……村田宇一郎

北海道、東京、新潟、山口、東北各地方會員諸氏の爲に特に地方版を附載せる斯民を配付す

發行所　東京市赤坂區溜池町三十一　中央報德會　振替東京九七〇〇

○御註文の節は處女の友廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

伊藤文子・小川錠子・高田久子共著
▽**裁縫おさいく物** 和装菊版全二冊
定價 正篇金壹圓四拾錢 續篇金壹圓八拾錢 各巻郵税金十二錢

女子普及會編
▽**新案小物全書** 和装菊版全一冊
定價金壹圓八拾錢 郵税金十二錢

木村淡香著
▽**和洋裁縫小ぎれ細工** 和装菊版全一冊
定價金壹圓貳拾錢 郵税金十二錢

高田久子・遠藤錠子共著
▽**裁縫おもちや集** 和装菊版全一冊
定價金壹圓 郵税金八錢

吉岡房次郎著
▽女子技藝**撮み細工全書** 和装菊版全一冊
定價金壹圓參拾錢 郵税金八錢

村井秋翠・中村興湖共著
▽家庭**袋物細工全書** 和装菊版全一冊
定價金壹圓五拾錢 郵税金十二錢

山田きよ子・種村なか子共著
▽**袋物細工之枝折** 和装菊版全一冊
定價金壹圓五拾錢 郵税金十二錢

岡本榮次郎・木村淡香共著
▽**實用刺繍全書** 和装菊版全一冊
定價金貳圓貳拾錢 郵税金十二錢

高橋岩次郎校訂 富田輝夫著
▽家庭實用**染色工藝** 洋装菊版全一冊
定價金壹圓七拾錢 郵税金十二錢

津田敏子著
▽**ろざし圖案集**(説明付) 洋本菊倍版 帙入全一冊
定價金貳圓 郵税金十八錢

伊澤峰子著
▽改訂實用**小兒洋服裁縫全書** 洋装菊版全一冊
定價金壹圓八拾錢 郵税金十二錢

東京市日本橋角 **大倉書店** 振替東京二三八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

三越の四月

寄裂見切反物賣出し ▼一日より

新製洋傘陳列 ▼一日より

春季新柄陳列 ▼十一日より

五月人形陳列會 ▼十日より

赤甕會洋畫展覽會 ▼一日より丸の內別館にて

下萠會繪畫展覽會 ▼十五日より丸の內別館にて

▼四月の定休日▼四日（第一日曜日）▼十八日（第三日曜日）▼

東京

三越呉服店

世界的の純良齒磨

クラブ齒磨

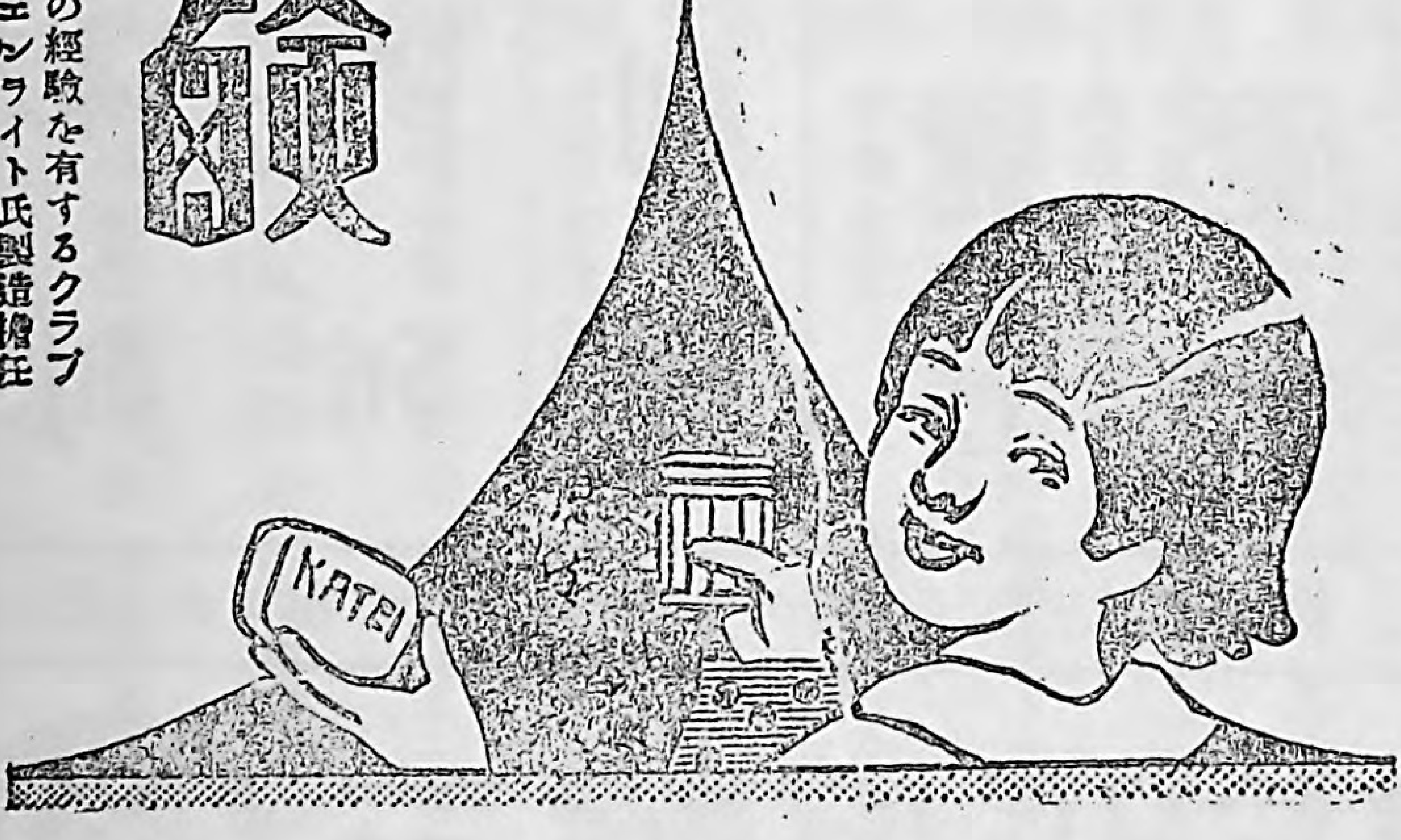
智識階級の愛用品(フエヴオリツト)

東洋一の化粧品工場で出來た世界的の純良石鹼

カテイ石鹼

生地を美しくする石鹼―肌を荒さぬ石鹼―花の香身に泌む石鹼

純良石鹼の製造に四十餘年の經驗を有するクラブ本店招聘技師ジエームスウエンライト氏製造擔任



大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年三月二十八日印刷納本
大正九年四月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN